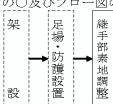

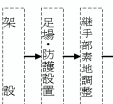
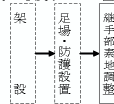

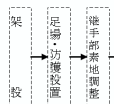
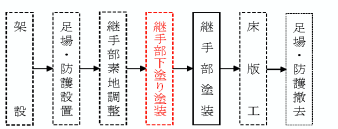
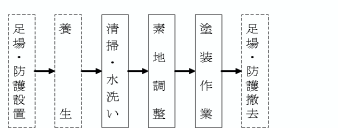
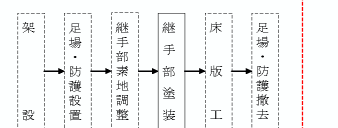
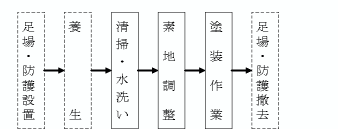


頁	新	旧												
<p>P4 第1章 土木工事標準単価 ①区画線工</p>	<p style="text-align: center;">030701以降適用</p> <p>2-4 直接工事費の算出                  直接工事費＝設計単価（注1）×設計数量＋材料費（注2）                  （注1）設計単価＝標準単価（機械・労務）×（K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>）                  （注2）材料費＝主材料単価×使用数量×（1＋材料諸雑費率）                  ※主材料は塗料、ガラスビーズ、プライマー、燃料である。                  ※材料諸雑費は、プロパンガス、希釈剤等の費用であり、材料諸雑費率は以下のとおりとする。                  溶融式：0.05 ペイント式：0.03</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 2px;">※矢印・文字・記号の設計数量は「所要材料換算長」とし、次式により算出する。                  所要材料換算長（m）＝設計数量（塗布面積（m<sup>2</sup>））÷0.15×1.20（重複施工ロス分）                  ただし、構成する線幅が10cm未満の場合は適用できない。</p> <p>&lt;施工規模が日当たり標準施工量に満たない場合&gt;                  1）1日未満で完了する場合（施工規模が日当たり標準施工量に満たない場合）は、「第1編第12章1日未満で完了する作業の積算」に準ずることとする。区画線工、高視認性区画線工において同一作業員の作業となる場合は一連の作業と判定し、同一作業員の作業でない場合はそれぞれで判定する。区画線消去（ウォータージェット式）に関しては、他規格と一連の作業とは考えずに判定する。                  2）表層の完了待ちなどの工程調整により、1日当たりの実施工量が日当たり標準施工量に満たない場合については、1日当たりの実施工量で「1日未満で完了する作業の積算」に該当するかどうかを判定する。                  3）区画線消去（ウォータージェット式）で、施工規模が日当たり標準施工量に満たない場合は、実施工量にかかわらず、日当たり標準施工量を実施した場合の金額を計上する。</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項                  標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。                  (1) 区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取扱いは、下表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 施工場所区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 90%;">工 事 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供 用 区 間</td> <td>維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事                      現道拡幅工事等：現道拡幅工事に伴う区画線工事                      交通安全工事(1種)：交差点改良、停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事                      交通安全工事(2種)：現道の区画線の補修工事</td> </tr> <tr> <td>未 供 用 区 間</td> <td>バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 仮区画線を施工する場合、区画線工と規格・仕様が同じであれば、適用出来る。                  (3) 歩道部、駐車場に区画線を設置する場合、区画線工と規格・仕様が同じであれば、適用出来る。                  (4) コンクリート舗装に区画線を設置する場合、区画線工と規格・仕様が同じであれば、適用出来る。                  (5) 区画線工における横断歩道、停止線等はゼブラを適用する。                  (6) 区画線設置のうち、減速・速度抑制等を目的とした破線（平行四辺形）は矢印・記号・文字を適用する。                  (7) 水性型ペイント式については、気温5℃以上、湿度85%未満での施工を標準とする。また、新設舗装上に施工する場合は、養生期間を経て、路面上の水分、軽質油成分が消滅した後での施工を標準とする。</p> <p>4. 施工コード                  SDT00001 区画線設置(溶融式)                  SDT00003 区画線設置(ペイント式)                  SDT00005 区画線設置(削取り式)                  SDT00007 区画線設置(ウォータージェット式)</p> <p style="text-align: center;">VI-1-①-4 4</p>	区 分	工 事 種 別	供 用 区 間	維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等：現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種)：交差点改良、停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種)：現道の区画線の補修工事	未 供 用 区 間	バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事	<p>2-4 直接工事費の算出                  直接工事費＝設計単価（注1）×設計数量＋材料費（注2）                  （注1）設計単価＝標準単価（機械・労務）×（K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>）                  （注2）材料費＝主材料単価×使用数量×（1＋材料諸雑費率）                  ※主材料は塗料、ガラスビーズ、プライマー、燃料である。                  ※材料諸雑費は、プロパンガス、希釈剤等の費用であり、材料諸雑費率は以下のとおりとする。                  溶融式：0.05 ペイント式：0.03</p> <p>&lt;施工規模が日当たり標準施工量に満たない場合&gt;                  1）1日未満で完了する場合（施工規模が日当たり標準施工量に満たない場合）は、「第1編第12章1日未満で完了する作業の積算」に準ずることとする。区画線工、高視認性区画線工において同一作業員の作業となる場合は一連の作業と判定し、同一作業員の作業でない場合はそれぞれで判定する。区画線消去（ウォータージェット式）に関しては、他規格と一連の作業とは考えずに判定する。                  2）表層の完了待ちなどの工程調整により、1日当たりの実施工量が日当たり標準施工量に満たない場合については、1日当たりの実施工量で「1日未満で完了する作業の積算」に該当するかどうかを判定する。                  3）区画線消去（ウォータージェット式）で、施工規模が日当たり標準施工量に満たない場合は、実施工量にかかわらず、日当たり標準施工量を実施した場合の金額を計上する。</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項                  標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。                  (1) 区画線設置作業における供用区間及び未供用区間の取扱いは、下表のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 施工場所区分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 90%;">工 事 種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>供 用 区 間</td> <td>維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事                      現道拡幅工事等：現道拡幅工事に伴う区画線工事                      交通安全工事(1種)：交差点改良、停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事                      交通安全工事(2種)：現道の区画線の補修工事</td> </tr> <tr> <td>未 供 用 区 間</td> <td>バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 仮区画線を施工する場合、区画線工と規格・仕様が同じであれば、適用出来る。                  (3) 歩道部、駐車場に区画線を設置する場合、区画線工と規格・仕様が同じであれば、適用出来る。                  (4) コンクリート舗装に区画線を設置する場合、区画線工と規格・仕様が同じであれば、適用出来る。                  (5) 区画線工における横断歩道、停止線等はゼブラを適用する。                  (6) 区画線設置のうち、減速・速度抑制等を目的とした破線（平行四辺形）は矢印・記号・文字を適用する。また、重複施工する部分を平均20%と見込み、これを施工実延長に加えた値で、換算長の算出は次式による。                  所要材料換算長（m）＝設計数量（塗布面積（m<sup>2</sup>））÷0.15×1.20（重複施工ロス分）                  ただし、構成する線幅が10cm未満の場合は適用出来ない。                  (7) 区画線設置のうち、減速・速度抑制等を目的とした破線（平行四辺形）は矢印・記号・文字を適用する。                  (8) 水性型ペイント式については、気温5℃以上、湿度85%未満での施工を標準とする。また、新設舗装上に施工する場合は、養生期間を経て、路面上の水分、軽質油成分が消滅した後での施工を標準とする。</p> <p>4. 施工コード                  SDT00001 区画線設置(溶融式)                  SDT00003 区画線設置(ペイント式)                  SDT00005 区画線設置(削取り式)                  SDT00007 区画線設置(ウォータージェット式)</p> <p style="text-align: center;">VI-1-①-4 4</p>	区 分	工 事 種 別	供 用 区 間	維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等：現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種)：交差点改良、停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種)：現道の区画線の補修工事	未 供 用 区 間	バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事
区 分	工 事 種 別													
供 用 区 間	維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等：現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種)：交差点改良、停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種)：現道の区画線の補修工事													
未 供 用 区 間	バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事													
区 分	工 事 種 別													
供 用 区 間	維持修繕工事：維持修繕工事に伴う区画線工事 現道拡幅工事等：現道拡幅工事に伴う区画線工事 交通安全工事(1種)：交差点改良、停車帯等の交通安全工事(1種)に伴う区画線工事 交通安全工事(2種)：現道の区画線の補修工事													
未 供 用 区 間	バイパス工事等：バイパス新設など未供用区間の区画線工事													

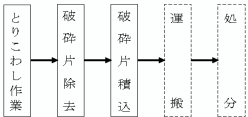
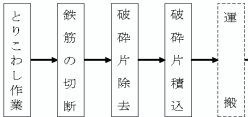
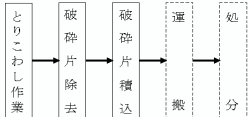

頁	新	旧																																																																		
P9 第1章 土木工事標準単価 ③橋梁塗装工	<p style="text-align: center;">030701 以降適用</p> <p>③ 橋梁塗装工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>1-1 標準単価が適用出来る範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>鋼橋の現場での新橋塗装・塗替塗装。</li> <li>高欄部の単独施工の塗替塗装。</li> <li>鋼橋架設工における新橋継手部現場塗装の素地調整、塗装。</li> <li>既設橋梁の床版補強工における新規補強鋼板現場塗装工の中塗り・上塗り塗装。</li> <li>塗膜剥離剤を使用した旧塗膜除去後のプラスト処理による素地調整（1種クレン）。</li> </ol> <p>1-2 標準単価を適用出来ない範囲</p> <p>(1) 特別調査等別途考慮するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。</li> <li>部分塗替塗装の場合。</li> <li>塗膜剥離剤による素地調整の場合。</li> <li>道路付属物（標識・防護柵等）への塗装の場合。</li> <li>静電気力を利用したスプレー塗装の場合。</li> <li>工場内における塗装前作業及び塗装作業の場合。</li> <li>その他、規格・仕様等が適合しない場合。</li> </ol> <p>2. 標準単価の設定</p> <p>2-1 標準単価の構成と範囲</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" data-bbox="448 750 694 853"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整(SDT00021)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 動力工具処理による継手部素地調整工で発生したクレンかす等の回収・積込・運搬・処分に関する費用を含む。</p> <p>2. プラスト処理による継手部素地調整工で発生した新削材及びクレンかすの運搬・処分に関する費用を含まない。回収・積込に要する費用を別途計上する。</p> <p>3. プラスト処理による継手部素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工（板張り防護・養生シート等）及び安全対策に要する費用は含まない。</p> <p>4. 継手部素地調整は、継手部塗装面積を計上する。</p> <table border="1" data-bbox="448 965 694 1069"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 下塗り(SDT00023)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 新橋現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への下塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>2. 新橋継手部現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への下塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>3. はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <table border="1" data-bbox="448 1157 694 1260"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00025)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 新橋現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への下塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>2. 準備・補修は、清掃又は水洗い作業及び補修塗装作業等を対象とし、塗装面積を計上する。</p> <p>3. はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-③-1 9</p>	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整(SDT00021)	○	○	○	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 下塗り(SDT00023)	○	○	○	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00025)	○	○	○	<p>③ 橋梁塗装工</p> <p>1. 適用範囲</p> <p>1-1 標準単価が適用出来る範囲</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>鋼橋の現場での新橋塗装・塗替塗装。</li> <li>高欄部の単独施工の塗替塗装。</li> <li>鋼橋架設工における新橋継手部現場塗装の素地調整、塗装。</li> <li>既設橋梁の床版補強工における新規補強鋼板現場塗装工の中塗り・上塗り塗装。</li> </ol> <p>1-2 標準単価を適用出来ない範囲</p> <p>(1) 特別調査等別途考慮するもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。</li> <li>既存の道路橋の鋼部材を対象とした部分塗替塗装の場合。</li> <li>塗膜部位が点在する部分塗替塗装の場合（タッチアップ除く）。</li> <li>化学反応を利用した素地調整の場合。</li> <li>道路付属物（標識・防護柵等）への塗装の場合。</li> <li>静電気力を利用したスプレー塗装の場合。</li> <li>工場内における塗装前作業及び塗装作業の場合。</li> <li>その他、規格・仕様等が適合しない場合。</li> </ol> <p>2. 標準単価の設定</p> <p>2-1 標準単価の構成と範囲</p> <p>標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線の部分である。</p> <table border="1" data-bbox="1411 734 1657 837"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整(SDT00021)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 動力工具処理による継手部素地調整工で発生したクレンかす等の回収・積込・運搬・処分に関する費用を含む。</p> <p>2. プラスト処理による継手部素地調整工で発生した新削材及びクレンかすの運搬・処分に関する費用を含まない。回収・積込に要する費用を必要に応じて計上する。</p> <p>3. プラスト処理による継手部素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策に要する費用は含まない。</p> <p>4. 継手部素地調整は、継手部塗装面積を計上する。</p> <table border="1" data-bbox="1411 949 1657 1053"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 下塗り(SDT00023)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 新橋現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への下塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>2. 新橋継手部現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への下塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>3. はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <table border="1" data-bbox="1411 1149 1657 1252"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00025)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 新橋現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への下塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。</p> <p>2. 準備・補修は、清掃又は水洗い作業及び補修塗装作業等を対象とし、塗装面積を計上する。</p> <p>3. はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-③-1 9</p>	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整(SDT00021)	○	○	○	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 下塗り(SDT00023)	○	○	○	工 種	標準単価			機	労	材	新橋現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00025)	○	○	○
工 種	標準単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整(SDT00021)	○	○	○																																																																	
工 種	標準単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 下塗り(SDT00023)	○	○	○																																																																	
工 種	標準単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
新橋現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00025)	○	○	○																																																																	
工 種	標準単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 素地調整(SDT00021)	○	○	○																																																																	
工 種	標準単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
新橋現場塗装・ 新橋継手部現場塗装 下塗り(SDT00023)	○	○	○																																																																	
工 種	標準単価																																																																			
	機	労	材																																																																	
新橋現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00025)	○	○	○																																																																	

令和2年度 山口県 設計標準歩掛表（一般共通編（土木工事標準単価・市場単価））  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																																																																																																																																																								
P10 第1章 土木工 事標準単価 ③橋梁塗装工	030701 以降適用 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋継手部 現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00027)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 新橋継手部現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への上塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。                      2. はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗替塗装 (SDT00029)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 清掃又は水洗い作業は、ウエスによる粉塵、ばい塵等の除去、又は、水洗い作業による塩分等の除去を対象とする。                      2. 素地調整は、塗装面積を計上する。                      3. 動力工具及び手工具による素地調整工で発生したケレンかす等の回収・積込・運搬・処分に関する費用を含む。                      4. プラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に関する費用は含まない。回収・積込に関する費用を別途計上する。                      5. プラスト処理による素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工（板張り防護・養生シート等）、安全対策（セキュリティールーム・呼吸用保護具等）及び特別管理（鉛、PCB 等有害物質への対応）に要する費用は含まない。                      6. 密閉部における有機溶剤除去時の安全対策に要する費用は含まない。                      7. はけ・ローラー又はスプレーによる塗装作業とし、スプレー塗装に必要な養生費は、含まない。</p> <p>2-2 標準単価の規格・仕様</p> <p>表 2. 1 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装素地調整</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> <th>日当たり標準施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">素地調整</td> <td>動力工具処理 ISO St 3</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>プラスト処理 ISO Sa 2 1/2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>研削材及びケレンかす回収・積込工</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) プラスト処理に用いる研削材は磁砂を除く。</p> <p>表 2. 2 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装（1）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> <th>日当たり標準施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミストコート</td> <td>変性エポキシ樹脂塗料（1層）</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>325</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">下塗り塗装</td> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）注1</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント（2層）注2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）注1</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料（2層）注2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント（3層）注2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料（1層）</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）、有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）は、1層当たりの目標膜厚を得るために、2回塗りが必要とする。                      2. 2層は、1層目の塗装を行った後、適切な塗装間隔を空けてさらにもう1層の塗装を塗り重ねるものである。3層は、2層目の塗装を行った後、適切な塗装間隔を空けてさらにもう1層の塗装を塗り重ねるものである。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-③-2 10</p> </div>	工 種	標準単価			機	労	材	機	労	材	新橋継手部 現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00027)	○	○	○				工 種	標準単価			機	労	材	機	労	材	塗替塗装 (SDT00029)	○	○	○				区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量	素地調整	動力工具処理 ISO St 3	m <sup>2</sup>	38	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2	m <sup>2</sup>	42	研削材及びケレンかす回収・積込工		m <sup>2</sup>	70	区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	325	下塗り塗装	超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	115	有機ジンクリッチペイント（2層）注2	m <sup>2</sup>	150	有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	143	変性エポキシ樹脂塗料（2層）注2	m <sup>2</sup>	150	鉛・クロムフリーさび止めペイント（3層）注2	m <sup>2</sup>	100	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	300	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新橋継手部 現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00027)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 新橋継手部現場塗装とは、工場内において継手部を除く部位への上塗り塗装が完了した新橋に対する架設現場での作業を示す。                      2. はけ・ローラーによる塗装作業とする。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">標準単価</th> <th rowspan="2">機</th> <th rowspan="2">労</th> <th rowspan="2">材</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗替塗装 (SDT00029)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. 清掃又は水洗い作業は、ウエスによる粉塵、ばい塵等の除去、又は、水洗い作業による塩分等の除去を対象とする。                      2. 素地調整は、塗装面積を計上する。                      3. 動力工具及び手工具による素地調整工で発生したケレンかす等の回収・積込・運搬・処分に関する費用を含む。                      4. プラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンかすの運搬・処分に関する費用は含まない。回収・積込に関する費用を必要に応じて計上する。                      5. プラスト処理による素地調整工で粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策に要する費用は含まない。                      6. 密閉部における有機溶剤除去時の安全対策に要する費用は含まない。                      7. はけ・ローラー又はスプレーによる塗装作業とし、スプレー塗装に必要な養生費は、含まない。</p> <p>2-2 標準単価の規格・仕様</p> <p>表 2. 1 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装素地調整</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> <th>日当たり標準施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">素地調整</td> <td>動力工具処理 ISO St 3</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>38</td> </tr> <tr> <td>プラスト処理 ISO Sa 2 1/2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>研削材及びケレンかす回収・積込工</td> <td></td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) プラスト処理に用いる研削材は磁砂を除く。</p> <p>表 2. 2 新橋現場塗装・新橋継手部現場塗装（1）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> <th>日当たり標準施工量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミストコート</td> <td>変性エポキシ樹脂塗料（1層）</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>325</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">下塗り塗装</td> <td>超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）注1</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント（2層）注2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）注1</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>143</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料（2層）注2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>鉛・クロムフリーさび止めペイント（3層）注2</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>変性エポキシ樹脂塗料（1層）</td> <td>m<sup>2</sup></td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）、有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）は、1層当たりの目標膜厚を得るために、2回塗りが必要とする。                      2. 2層は、1層目の塗装を行った後、適切な塗装間隔を空けてさらにもう1層の塗装を塗り重ねるものである。3層は、2層目の塗装を行った後、適切な塗装間隔を空けてさらにもう1層の塗装を塗り重ねるものである。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-③-2 10</p> </div>	工 種	標準単価			機	労	材	機	労	材	新橋継手部 現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00027)	○	○	○				工 種	標準単価			機	労	材	機	労	材	塗替塗装 (SDT00029)	○	○	○				区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量	素地調整	動力工具処理 ISO St 3	m <sup>2</sup>	38	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2	m <sup>2</sup>	42	研削材及びケレンかす回収・積込工		m <sup>2</sup>	70	区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量	ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	325	下塗り塗装	超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	115	有機ジンクリッチペイント（2層）注2	m <sup>2</sup>	150	有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	143	変性エポキシ樹脂塗料（2層）注2	m <sup>2</sup>	150	鉛・クロムフリーさび止めペイント（3層）注2	m <sup>2</sup>	100	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	300
工 種	標準単価			機	労				材																																																																																																																																																	
	機	労	材																																																																																																																																																							
新橋継手部 現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00027)	○	○	○																																																																																																																																																							
工 種	標準単価			機	労	材																																																																																																																																																				
	機	労	材																																																																																																																																																							
塗替塗装 (SDT00029)	○	○	○																																																																																																																																																							
区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量																																																																																																																																																							
素地調整	動力工具処理 ISO St 3	m <sup>2</sup>	38																																																																																																																																																							
	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2	m <sup>2</sup>	42																																																																																																																																																							
研削材及びケレンかす回収・積込工		m <sup>2</sup>	70																																																																																																																																																							
区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量																																																																																																																																																							
ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	325																																																																																																																																																							
下塗り塗装	超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	115																																																																																																																																																							
	有機ジンクリッチペイント（2層）注2	m <sup>2</sup>	150																																																																																																																																																							
	有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	143																																																																																																																																																							
	変性エポキシ樹脂塗料（2層）注2	m <sup>2</sup>	150																																																																																																																																																							
	鉛・クロムフリーさび止めペイント（3層）注2	m <sup>2</sup>	100																																																																																																																																																							
	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	300																																																																																																																																																							
工 種	標準単価			機	労	材																																																																																																																																																				
	機	労	材																																																																																																																																																							
新橋継手部 現場塗装 中塗り・上塗り (SDT00027)	○	○	○																																																																																																																																																							
工 種	標準単価			機	労	材																																																																																																																																																				
	機	労	材																																																																																																																																																							
塗替塗装 (SDT00029)	○	○	○																																																																																																																																																							
区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量																																																																																																																																																							
素地調整	動力工具処理 ISO St 3	m <sup>2</sup>	38																																																																																																																																																							
	プラスト処理 ISO Sa 2 1/2	m <sup>2</sup>	42																																																																																																																																																							
研削材及びケレンかす回収・積込工		m <sup>2</sup>	70																																																																																																																																																							
区分	規格・仕様	単位	日当たり標準施工量																																																																																																																																																							
ミストコート	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	325																																																																																																																																																							
下塗り塗装	超厚膜形エポキシ樹脂塗料（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	115																																																																																																																																																							
	有機ジンクリッチペイント（2層）注2	m <sup>2</sup>	150																																																																																																																																																							
	有機ジンクリッチペイント（2回塗り/層）注1	m <sup>2</sup>	143																																																																																																																																																							
	変性エポキシ樹脂塗料（2層）注2	m <sup>2</sup>	150																																																																																																																																																							
	鉛・クロムフリーさび止めペイント（3層）注2	m <sup>2</sup>	100																																																																																																																																																							
	変性エポキシ樹脂塗料（1層）	m <sup>2</sup>	300																																																																																																																																																							

頁	新	旧																																																																																														
<p>P14</p> <p>第1章 土木工事標準単価</p> <p>③橋梁塗装工</p>	<p style="text-align: center;">030701以降適用</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項</p> <p>標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 鋼橋の現場での塗装作業に適用する。</p> <p>(2) 標準単価の設定でいう濃彩とは、青、緑系及びオレンジ系のことであり、赤系、濃彩以外を淡彩とする。</p> <p>(3) 適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。</p> <p>鉸桁構造……プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。</p> <p>箱桁構造……単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。</p> <p>弦材を有する構造……トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。</p> <p>横断歩道橋……各種横断歩道橋。</p> <p>側道橋……各種側道橋。</p> <p>(4) 素地調整（ケレン）工に伴う塗膜の劣化面積と素地調整種別は、次のとおりとする。</p> <p>1) さびが発生している場合</p> <table border="1" data-bbox="403 622 1086 821"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>発錆面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> <th>作業方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。</td> <td>ブラスト法</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。</td> <td>30以上</td> <td>旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。</td> <td rowspan="3">ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具と手工具の併用</td> </tr> <tr> <td>3種A</td> <td>点錆がかなり点在している。</td> <td>15～30</td> <td>活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>点錆が少し点在している。</td> <td>5～15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>点錆がほんの少し点在している。</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>2) さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合。</p> <table border="1" data-bbox="403 837 1086 1005"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>塗膜異常面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> <th>作業方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3種A</td> <td>発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。</td> <td>30以上</td> <td>活膜は残すが、不良部は除去する。</td> <td rowspan="4">ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具と手工具の併用</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>同上</td> <td>15～30</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>同上</td> <td>5～15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>4種</td> <td>同上</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 鋼橋架設の新橋継手部の素地調整は動力工具処理又はブラスト処理により行う作業をいう。</p> <p>(6) 3種ケレンについては、補修塗装作業を含むものとする。なお、2種及び4種ケレンについては、補修塗装作業を含まないものとする。</p> <p>(7) 2種ケレン、3種ケレン、4種ケレンは動力工具処理及び手工具により行う作業とし、ブラスト処理により行う作業は適用外とする。</p> <p>(8) ケレン（ブラスト処理を含む）及びスプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工（板張り防護・養生シート等）、安全対策（セキュリティールーム・呼吸用保護具等）及び特別管理（鉛、PCB等有害物質への対応）が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(9) 準備・補修における補修塗装作業とは、橋梁架設時に行う下塗り塗膜破損箇所の補修作業である。</p> <p>(10) ブラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンがすの運搬・処分に関する費用は含まない。回収・積込に要する費用を別途計上する。</p> <p>(11) 準備・補修及び清掃・水洗い作業における水洗い作業の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(12) 準備・補修における下塗り損傷箇所の補修塗り、素地調整3種ケレンにおける鋼材露出部への簡易的な部分塗り（タッチアップ作業）の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(13) 随意契約による調整を行う追加工事の扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p> <p>(14) 高力ボルト連結部の塗装仕様に関して、防錆処理ボルトの使用の有無に関わらず適用できる。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-③-6 14</p>	素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容	作業方法	1種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。	ブラスト法	2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。	ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具と手工具の併用	3種A	点錆がかなり点在している。	15～30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。	3種B	点錆が少し点在している。	5～15	同上	3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上		素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容	作業方法	3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する。	ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具と手工具の併用	3種B	同上	15～30	同上	3種C	同上	5～15	同上	4種	同上	5以下	同上	<p>3. 適用にあたっての留意事項</p> <p>標準単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 鋼橋の現場での塗装作業に適用する。</p> <p>(2) 標準単価の設定でいう濃彩とは、青、緑系及びオレンジ系のことであり、赤系、濃彩以外を淡彩とする。</p> <p>(3) 適用出来る鋼橋形式は、次のとおりとする。</p> <p>鉸桁構造……プレートガーダー、連続プレートガーダー、ゲルバーガーダー、合成桁等に類するもの。</p> <p>箱桁構造……単純ボックスガーダー、連続ボックスガーダー、ゲルバーボックスガーダー、合成ボックスガーダーに類するもの。</p> <p>弦材を有する構造……トラス、ゲルバートラス、ランガー桁、アーチ又はラーメン等に類するもの。</p> <p>横断歩道橋……各種横断歩道橋。</p> <p>側道橋……各種側道橋。</p> <p>(4) 素地調整（ケレン）工に伴う塗膜の劣化面積と素地調整種別は、次のとおりとする。</p> <p>1) さびが発生している場合</p> <table border="1" data-bbox="1411 622 2049 821"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>発錆面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1種</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。</td> </tr> <tr> <td>2種</td> <td>点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。</td> <td>30以上</td> <td>旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。</td> </tr> <tr> <td>3種A</td> <td>点錆がかなり点在している。</td> <td>15～30</td> <td>活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>点錆が少し点在している。</td> <td>5～15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>点錆がほんの少し点在している。</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) さびがなく、われ・ふくれ・はがれ・白亜化・変退色などの塗膜異常がある場合。</p> <table border="1" data-bbox="1411 837 2049 1005"> <thead> <tr> <th>素地調整種別</th> <th>さびの状態</th> <th>塗膜異常面積(%)</th> <th>素地調整内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3種A</td> <td>発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。</td> <td>30以上</td> <td>活膜は残すが、不良部は除去する。</td> </tr> <tr> <td>3種B</td> <td>同上</td> <td>15～30</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>3種C</td> <td>同上</td> <td>5～15</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>4種</td> <td>同上</td> <td>5以下</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 鋼橋架設の新橋継手部の素地調整は動力工具処理又はブラスト処理により行う作業をいう。</p> <p>(6) 3種ケレンについては、補修塗装作業を含むものとする。なお、2種及び4種ケレンについては、補修塗装作業を含まないものとする。</p> <p>(7) 2種ケレン、3種ケレン、4種ケレンは動力工具処理及び手工具により行う作業とし、ブラスト処理により行う作業は適用外とする。</p> <p>(8) ケレン（ブラスト処理を含む）及びスプレー塗装の粉塵飛散防止のための防護工及び安全対策が必要な場合は、別途計上する。</p> <p>(9) 準備・補修における補修塗装作業とは、橋梁架設時に行う下塗り塗膜破損箇所の補修作業である。</p> <p>(10) ブラスト処理による素地調整工で発生した研削材及びケレンがすの運搬・処分に関する費用は含まない。回収・積込に要する費用を必要に応じて計上する。</p> <p>(11) 準備・補修及び清掃・水洗い作業における水洗い作業の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(12) 準備・補修における下塗り損傷箇所の補修塗り、素地調整3種ケレンにおける鋼材露出部への簡易的な部分塗り（タッチアップ作業）の有無に関わらず適用できる。</p> <p>(13) 随意契約による調整を行う追加工事の扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p> <p>(14) 高力ボルト連結部の塗装仕様に関して、防錆処理ボルトの使用の有無に関わらず適用できる。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-③-6 14</p>	素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容	1種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。	2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。	3種A	点錆がかなり点在している。	15～30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。	3種B	点錆が少し点在している。	5～15	同上	3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上	素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容	3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する。	3種B	同上	15～30	同上	3種C	同上	5～15	同上	4種	同上	5以下	同上
素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容	作業方法																																																																																												
1種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。	ブラスト法																																																																																												
2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。	ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具と手工具の併用																																																																																												
3種A	点錆がかなり点在している。	15～30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。																																																																																													
3種B	点錆が少し点在している。	5～15	同上																																																																																													
3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上																																																																																													
素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容	作業方法																																																																																												
3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する。	ディスクサンダー、ワイヤホイールなどの動力工具と手工具の併用																																																																																												
3種B	同上	15～30	同上																																																																																													
3種C	同上	5～15	同上																																																																																													
4種	同上	5以下	同上																																																																																													
素地調整種別	さびの状態	発錆面積(%)	素地調整内容																																																																																													
1種	—	—	さび、旧塗膜を完全に除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																													
2種	点錆が進行し、板状錆に近い状態や、こぶ状錆となっている。	30以上	旧塗膜、さびを除去し、鋼材面を露出させる。																																																																																													
3種A	点錆がかなり点在している。	15～30	活膜は残すが、それ以外の不良部（さび・われ・ふくれ）は除去する。																																																																																													
3種B	点錆が少し点在している。	5～15	同上																																																																																													
3種C	点錆がほんの少し点在している。	5以下	同上																																																																																													
素地調整種別	さびの状態	塗膜異常面積(%)	素地調整内容																																																																																													
3種A	発錆はないが、われ・ふくれ・はがれの発生が多く認められる。	30以上	活膜は残すが、不良部は除去する。																																																																																													
3種B	同上	15～30	同上																																																																																													
3種C	同上	5～15	同上																																																																																													
4種	同上	5以下	同上																																																																																													

頁	新	旧																																												
P16 第1章 土木工事標準単価 ④ 構造物とりこわし工	030701以降適用 ④ 構造物とりこわし工 1. 適用範囲 1-1 標準単価が適用できる範囲 (1) 河川、海岸、砂防、道路工事等の既設コンクリート構造物のとりこわし作業。 (2) とりこわし方法の主たる作業機械が、大型ブレーカ、コンクリートブレーカ、コンクリート圧砕機の場合。 (3) 施工基面（機械設置基面）より上下5m以内のとりこわし作業。 1-2 標準単価が適用できない範囲 (1) 設計標準歩掛表等により別途積算するもの。 (2) 建築物、舗装版のとりこわし作業及びブロック施工による旧橋撤去。 (3) 「橋梁地覆補修工」に伴う「とりこわし工」。 (4) 「構造物とりこわし工」に伴う「コンクリートはつり（平均はつり厚6cm以下）」。 (5) 「特別調査等別途考慮するもの」。 (6) 施工基面（機械設置基面）より上下5mを超える作業能力を有する機種を用いる場合。 (7) コア抜きして内部を広げて破砕する場合。 (8) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 (9) その他、規格・仕様が適合しない場合。 2. 標準単価の設定 2-1 標準単価の構成と範囲 標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。 <table border="1" data-bbox="421 805 638 922"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無筋構造物 (SDT00031)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>  <table border="1" data-bbox="421 938 638 1054"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋構造物 (SDT00033)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. チゼルの損耗費等を含む。                      2. 上記フロー図の破線表示(運搬、処分)の作業は、施工コード(SDTY0003)を使用した場合は考慮されるため別途計上する必要はない。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-④-1 16</p>	工種	標準単価			機	労	材	無筋構造物 (SDT00031)	○	○	△	工種	標準単価			機	労	材	鉄筋構造物 (SDT00033)	○	○	△	④ 構造物とりこわし工 1. 適用範囲 1-1 標準単価が適用できる範囲 (1) 河川、海岸、砂防、道路工事等の既設コンクリート構造物のとりこわし作業。 (2) とりこわし方法の主たる作業機械が、大型ブレーカ、コンクリートブレーカ、コンクリート圧砕機の場合。 (3) 施工基面（機械設置基面）より上下5m以内のとりこわし作業。 1-2 標準単価が適用できない範囲 (1) 設計標準歩掛表等により別途積算するもの。 (2) 建築物、舗装版のとりこわし作業及びブロック施工による旧橋撤去。 (3) 「橋梁地覆補修工」に伴う「とりこわし工」。 (4) 「構造物とりこわし工」に伴う「若種取壊し（人力）」及び「コンクリートはつり（平均はつり厚6cm以下）」。 (5) 「特別調査等別途考慮するもの」。 (6) 施工基面（機械設置基面）より上下5mを超える作業能力を有する機種を用いる場合。 (7) コア抜きして内部を広げて破砕する場合。 (8) 離島及び山間僻地等で明らかに単価が異なると判断される地域の場合。 (9) その他、規格・仕様が適合しない場合。 2. 標準単価の設定 2-1 標準単価の構成と範囲 標準単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。 <table border="1" data-bbox="1400 842 1617 959"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>無筋構造物 (SDT00031)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>  <table border="1" data-bbox="1400 975 1617 1091"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">標準単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋構造物 (SDT00033)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </tbody> </table>  <p>(注) 1. チゼルの損耗費等を含む。                      2. 上記フロー図の破線表示(運搬、処分)の作業は、施工コード(SDTY0003)を使用した場合は考慮されるため別途計上する必要はない。</p> <p style="text-align: center;">VI-1-④-1 16</p>	工種	標準単価			機	労	材	無筋構造物 (SDT00031)	○	○	△	工種	標準単価			機	労	材	鉄筋構造物 (SDT00033)	○	○	△
工種	標準単価																																													
	機	労	材																																											
無筋構造物 (SDT00031)	○	○	△																																											
工種	標準単価																																													
	機	労	材																																											
鉄筋構造物 (SDT00033)	○	○	△																																											
工種	標準単価																																													
	機	労	材																																											
無筋構造物 (SDT00031)	○	○	△																																											
工種	標準単価																																													
	機	労	材																																											
鉄筋構造物 (SDT00033)	○	○	△																																											

頁	新	旧																																						
P49 第2章 市場単価 ③防護柵設置工 ③-1防護柵設置工(ガードレール)	030701以降適用 2-4 加算額 (1) 加算額の適用基準 表2.11 加算額の適用基準 <table border="1" data-bbox="414 454 1041 598"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算額</td> <td rowspan="3">標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)</td> <td>支柱間隔4m</td> <td rowspan="3">m</td> <td rowspan="3">対象数量</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔3m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)</td> <td>支柱間隔4m</td> <td rowspan="3">対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td rowspan="3">m</td> <td rowspan="3">対象数量</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔3m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔2m</td> </tr> </tbody> </table> 2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S <sub>0</sub> or S <sub>1</sub> or S <sub>2</sub> or S <sub>2</sub> /100)×(K <sub>1</sub> ×K <sub>2</sub> ×K <sub>3</sub> ) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費 <sub>機(1)</sub> ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費 <sub>機(1)</sub> +曲げ加工費)とする。 また、21m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額(土中建設の場合は標準材料費 <sub>機(1)</sub> を40%割増、コンクリート建設の場合には標準材料費 <sub>機(1)</sub> を30%割増)を控除すること。 ※(2) 21m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費(m単価)を指す。 (2) 景観色ガードレールの設置費(機・労・材)の算出は、次式による。 (景観色ガードレールとは、景観に配慮した塗装(景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等)を施した製品) 設置費=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費 <sub>機(1)</sub> +材料費(景観色) <sub>機(2)</sub> ※(3) 21m未満の材工共価格を算出する場合には、別途計上する材料費(景観色)に施工規模を考慮した材料費相当額(土中建設の場合は標準材料費 <sub>機(1)</sub> を40%割増、コンクリート建設の場合には標準材料費 <sub>機(1)</sub> を30%割増)を加算すること。 (3) 前型ガードレールの設置において、ガードレールB種・積雪ランク5、ガードレールC種・積雪ランク4及び5は、上級種別の規格を適用する。 (4) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間={撤去単価(標準の市場単価)×補正係数} +{設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費 <sub>機(1)</sub> } (5) 前型ガードレールにおける根巻きコンクリートは、プレキャストコンクリートブロック、現場打設を問わず適用可能。 (6) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。 4. 施工コード SS000121 防護柵設置工(Gr)土中建設 SS000123 防護柵設置工(Gr)コンクリート建設 SS000125 防護柵設置工(Gr)レール設置 SS000127 防護柵設置工(Gr)防護柵撤去 SS000129 防護柵設置工(Gr)レール撤去 VI-2-③-7 49	規格・仕様		適用基準	単位	備考	加算額	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	m	対象数量	支柱間隔3m	支柱間隔2m	曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量	支柱間隔3m	支柱間隔2m	2-4 加算額 (1) 加算額の適用基準 表2.11 加算額の適用基準 <table border="1" data-bbox="1388 454 2016 598"> <thead> <tr> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算額</td> <td rowspan="3">標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)</td> <td>支柱間隔4m</td> <td rowspan="3">m</td> <td rowspan="3">対象数量</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔3m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔2m</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)</td> <td>支柱間隔4m</td> <td rowspan="3">対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td rowspan="3">m</td> <td rowspan="3">対象数量</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔3m</td> </tr> <tr> <td>支柱間隔2m</td> </tr> </tbody> </table> 2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S <sub>0</sub> or S <sub>1</sub> or S <sub>2</sub> or S <sub>2</sub> /100)×(K <sub>1</sub> ×K <sub>2</sub> ×K <sub>3</sub> ) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費 <sub>機(1)</sub> ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費 <sub>機(1)</sub> +曲げ加工費)とする。 また、21m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額(土中建設の場合は標準材料費 <sub>機(1)</sub> を40%割増、コンクリート建設の場合には標準材料費 <sub>機(1)</sub> を30%割増)を控除すること。 ※(2) 21m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費(m単価)を指す。 (2) 景観色ガードレールの設置手間(機・労・材)の算出は、次式による。 (景観色ガードレールとは、景観に配慮した塗装(景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等)を施した製品) 設置手間=(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数)-材料費 <sub>機(1)</sub> +材料費(景観色) <sub>機(2)</sub> ※(3) 21m未満の材工共価格を算出する場合には、別途計上する材料費(景観色)に施工規模を考慮した材料費相当額(土中建設の場合は標準材料費 <sub>機(1)</sub> を40%割増、コンクリート建設の場合には標準材料費 <sub>機(1)</sub> を30%割増)を加算すること。 (3) 前型ガードレールの設置において、ガードレールB種・積雪ランク5、ガードレールC種・積雪ランク4及び5は、上級種別の規格を適用する。 (4) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間={撤去単価(標準の市場単価)×補正係数} +{設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費 <sub>機(1)</sub> } (5) 前型ガードレールにおける根巻きコンクリートは、プレキャストコンクリートブロック、現場打設を問わず適用可能。 (6) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。 4. 施工コード SS000121 防護柵設置工(Gr)土中建設 SS000123 防護柵設置工(Gr)コンクリート建設 SS000125 防護柵設置工(Gr)レール設置 SS000127 防護柵設置工(Gr)防護柵撤去 SS000129 防護柵設置工(Gr)レール撤去 VI-2-③-7 49	規格・仕様		適用基準	単位	備考	加算額	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	m	対象数量	支柱間隔3m	支柱間隔2m	曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量	支柱間隔3m	支柱間隔2m
規格・仕様		適用基準	単位	備考																																				
加算額	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	m	対象数量																																				
		支柱間隔3m																																						
		支柱間隔2m																																						
曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量																																				
	支柱間隔3m																																							
	支柱間隔2m																																							
規格・仕様		適用基準	単位	備考																																				
加算額	標準支柱より長い場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	m	対象数量																																				
		支柱間隔3m																																						
		支柱間隔2m																																						
曲げ支柱の場合(B・Cタイプ)	支柱間隔4m	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量																																				
	支柱間隔3m																																							
	支柱間隔2m																																							

令和2年度 山口県 設計標準歩掛表（一般共通編（土木工事標準単価・市場単価））  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																								
P54 第2章 市場単価 ③防護柵設置工 ③-2防護柵設置工(ガードパイプ)	030701以降適用 2-4 加算額 (1) 加算額の適用基準 表2.8 加算額の適用基準 <table border="1" data-bbox="421 459 1066 563"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準支柱より長い場合 B・C種</td> <td>支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td>m</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>曲げ支柱の場合 B・C種</td> <td>対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td>m</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> 2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S <sub>0</sub> or S <sub>1</sub> or S <sub>2</sub> or S <sub>3</sub> /100)×(K <sub>1</sub> ×K <sub>2</sub> ×K <sub>3</sub> ) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間={設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数}-材料費 <sub>機(1)</sub> ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費 <sub>機(2)</sub> +曲げ加工費)とする。 また、20m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額(土中建込の場合、コンクリート建込の場合ともに標準材料費 <sub>機(2)</sub> ×30%割増)を控除すること。 ※(2) 20m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費(m単価)を指す。 (2) 景観色の設置費(機・労・材)の算出は、次式による。 (景観色とは、景観に配慮した塗装(景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等)を施した製品) 設置費={設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数}-材料費 <sub>機(1)</sub> +材料費(景観色) <sub>機(2)</sub> ※(3) 20m未満の材工共価格を算出する場合には、別途計上する材料費(景観色)に施工規模を考慮した材料費相当額(土中建込の場合、コンクリート建込の場合ともに標準材料費 <sub>機(2)</sub> ×30%割増)を加算すること。 (3) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間={撤去単価(標準の市場単価)×補正係数}+(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費 <sub>機(1)</sub> ) (4) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。 4. 施工コード SS000131 防護柵設置工(Gp)土中建込 SS000133 防護柵設置工(Gp)コンクリート建込 SS000135 防護柵設置工(Gp)パイプ設置 SS000137 防護柵設置工(Gp)防護柵撤去 SS000139 防護柵設置工(Gp)パイプ撤去 VI-2-③-20 54	規格・仕様	適用基準	単位	備考	標準支柱より長い場合 B・C種	支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量	曲げ支柱の場合 B・C種	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量	2-4 加算額 (1) 加算額の適用基準 表2.8 加算額の適用基準 <table border="1" data-bbox="1388 459 2033 563"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標準支柱より長い場合 B・C種</td> <td>支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td>m</td> <td>対象数量</td> </tr> <tr> <td>曲げ支柱の場合 B・C種</td> <td>対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。</td> <td>m</td> <td>対象数量</td> </tr> </tbody> </table> 2-5 直接工事費の算出 直接工事費=設計単価(注1)×設計数量+加算額総金額(注2) (注1) 設計単価=標準の市場単価×(1+S <sub>0</sub> or S <sub>1</sub> or S <sub>2</sub> or S <sub>3</sub> /100)×(K <sub>1</sub> ×K <sub>2</sub> ×K <sub>3</sub> ) (注2) 加算額総金額=加算額×使用数量 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 材料を含まない設置手間(機・労)の算出は、次式による。 設置手間={設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数}-材料費 <sub>機(1)</sub> ※(1) 曲線部の場合、ビームの曲げ加工済みの材料費(標準材料費 <sub>機(2)</sub> +曲げ加工費)とする。 また、20m未満の設置手間を算出する場合には、施工規模を考慮した材料費相当額(土中建込の場合、コンクリート建込の場合ともに標準材料費 <sub>機(2)</sub> ×30%割増)を控除すること。 ※(2) 20m以上の場合の物価資料に掲載のある標準材料費(m単価)を指す。 (2) 景観色の設置手間(機・労・材)の算出は、次式による。 (景観色とは、景観に配慮した塗装(景観に配慮した防護柵の整備ガイドラインに基づく基本3色等)を施した製品) 設置手間={設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数}-材料費 <sub>機(1)</sub> +材料費(景観色) <sub>機(2)</sub> ※(3) 20m未満の材工共価格を算出する場合には、別途計上する材料費(景観色)に施工規模を考慮した材料費相当額(土中建込の場合、コンクリート建込の場合ともに標準材料費 <sub>機(2)</sub> ×30%割増)を加算すること。 (3) 移設の設置手間(機・労)の算出は、次式による。 移設手間={撤去単価(標準の市場単価)×補正係数}+(設置単価(標準の市場単価)×加算率×補正係数-材料費 <sub>機(1)</sub> ) (4) コンクリート基礎ブロックの設置が必要な場合は、コンクリート基礎ブロック材料費・設置手間(機・労)を別途計上する。 4. 施工コード SS000131 防護柵設置工(Gp)土中建込 SS000133 防護柵設置工(Gp)コンクリート建込 SS000135 防護柵設置工(Gp)パイプ設置 SS000137 防護柵設置工(Gp)防護柵撤去 SS000139 防護柵設置工(Gp)パイプ撤去 VI-2-③-20 54	規格・仕様	適用基準	単位	備考	標準支柱より長い場合 B・C種	支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量	曲げ支柱の場合 B・C種	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量
規格・仕様	適用基準	単位	備考																							
標準支柱より長い場合 B・C種	支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量																							
曲げ支柱の場合 B・C種	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量																							
規格・仕様	適用基準	単位	備考																							
標準支柱より長い場合 B・C種	支柱を長くする必要のある場合は、12cm増す毎に対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量																							
曲げ支柱の場合 B・C種	対象となる規格・仕様の単価を加算額で加算する。	m	対象数量																							

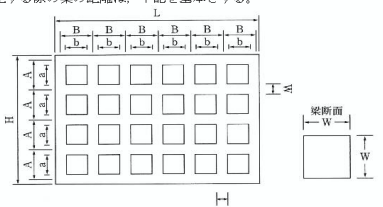

頁	新	旧																																																																																																																																																			
<p style="text-align: right;">030701以降適用</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">アン カ ー 設 置</th> <th rowspan="2">支 柱 設 置</th> <th rowspan="2">残 土 の 積 込</th> <th rowspan="2">残 土 の 運 搬</th> <th rowspan="2">残 土 の 処 理</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>支柱設置 (SS000169)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>(注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。                  2. 支柱設置用アンカーの材料費及び設置費を含む。                  3. 支柱設置時に発生する残土の処理（処分費）は含まない。</p> <p>2-2 市場単価の規格・仕様区分                  落石防止網（ロックネット）設置工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 市場単価の規格・仕様区分（金網・ロープ設置）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格・仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径2.6mm</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径3.2mm</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径4.0mm</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径5.0mm</td> <td>㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表中の（ ）内は、JIS G 3 5 5 2による。                  2. 金網の表面仕様は、亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4）を標準とし、亜鉛メッキカラー3, 4種（C-G S 3, 4）、厚メッキ7種（Z-G S 7）、厚メッキカラー7種（C-G S 7）及び合成樹脂（ポリエチレン）被覆3, 4種（E-G H 3, 4）を使用する場合は、補正係数を適用する。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表2.2 市場単価の規格・仕様区分（アンカー設置）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">規 格・仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">岩盤用</td> <td colspan="2">D22mm × 長1,000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D25mm × 長1,000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D29mm × 長1,000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D32mm × 長1,000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">土中用</td> <td>羽根付アンカー</td> <td>径25mm × 長1,500mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>高耐久アンカー （プレート羽付）</td> <td>アンカー有効長1,500mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高耐久アンカー （溝形鋼羽付）</td> <td>アンカー有効長2,000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>アンカー有効長1,500mm</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">表2.3 市場単価の規格・仕様区分（支柱設置）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規 格・仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">ポケット式支柱 （アンカー固定式）</td> <td>支柱高2.0m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高2.5m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高3.0m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高3.5m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高4.0m</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 支柱設置用のアンカーは岩盤用を標準とし、土中用の場合は補正係数を適用する。</p>	工 種	市場単価			アン カ ー 設 置	支 柱 設 置	残 土 の 積 込	残 土 の 運 搬	残 土 の 処 理	機	労	材	支柱設置 (SS000169)	○	○	○						規 格・仕 様	単 位	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径2.6mm	㎡	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径3.2mm	㎡	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径4.0mm	㎡	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径5.0mm	㎡	規 格・仕 様			単 位	岩盤用	D22mm × 長1,000mm		箇所	D25mm × 長1,000mm		箇所	D29mm × 長1,000mm		箇所	D32mm × 長1,000mm		箇所	土中用	羽根付アンカー	径25mm × 長1,500mm	箇所	高耐久アンカー （プレート羽付）	アンカー有効長1,500mm	箇所	高耐久アンカー （溝形鋼羽付）	アンカー有効長2,000mm	箇所	アンカー有効長1,500mm	箇所	規 格・仕 様		単 位	ポケット式支柱 （アンカー固定式）	支柱高2.0m	箇所	支柱高2.5m	箇所	支柱高3.0m	箇所	支柱高3.5m	箇所	支柱高4.0m	箇所	<div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <table border="1" style="border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">工 種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">アン カ ー 設 置</th> <th rowspan="2">支 柱 設 置</th> <th rowspan="2">残 土 の 積 込</th> <th rowspan="2">残 土 の 運 搬</th> <th rowspan="2">残 土 の 処 理</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> <tr> <td>支柱設置 (SS000169)</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> </div> <p>(注) 1. 材料の小運搬・持ち上げを含む。                  2. 支柱設置用アンカーの材料費及び設置費を含む。                  3. 支柱設置時に発生する残土の処理（処分費）は含まない。</p> <p>2-2 市場単価の規格・仕様区分                  落石防止網（ロックネット）設置工の市場単価の規格・仕様区分は下表のとおりである。</p> <p style="text-align: center;">表2.1 市場単価の規格・仕様区分（金網・ロープ設置）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規 格・仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径2.6mm</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径3.2mm</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径4.0mm</td> <td>㎡</td> </tr> <tr> <td>亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径5.0mm</td> <td>㎡</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 表中の（ ）内は、JIS G 3 5 5 2による。                  2. 金網の表面仕様は、亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4）を標準とし、亜鉛メッキカラー3, 4種（C-G S 3, 4）、厚メッキ7種（Z-G S 7）、厚メッキカラー7種（C-G S 7）及び合成樹脂（ポリエチレン）被覆3, 4種（E-G H 3, 4）を使用する場合は、補正係数を適用する。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p style="text-align: center;">表2.2 市場単価の規格・仕様区分（アンカー設置）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="3">規 格・仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">岩盤用</td> <td colspan="2">D22mm × 長1000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D25mm × 長1000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D29mm × 長1000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td colspan="2">D32mm × 長1000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">土中用</td> <td>羽根付アンカー</td> <td>径25mm × 長1500mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>高耐久アンカー （プレート羽付）</td> <td>アンカー有効長1500mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">高耐久アンカー （溝形鋼羽付）</td> <td>アンカー有効長2000mm</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>アンカー有効長1500mm</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: center;">表2.3 市場単価の規格・仕様区分（支柱設置）</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">規 格・仕 様</th> <th>単 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center;">ポケット式支柱 （アンカー固定式）</td> <td>支柱高2.0m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高2.5m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高3.0m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高3.5m</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>支柱高4.0m</td> <td>箇所</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 支柱設置用のアンカーは岩盤用を標準とし、土中用の場合は補正係数を適用する。</p>	工 種	市場単価			アン カ ー 設 置	支 柱 設 置	残 土 の 積 込	残 土 の 運 搬	残 土 の 処 理	機	労	材	支柱設置 (SS000169)	○	○	○						規 格・仕 様	単 位	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径2.6mm	㎡	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径3.2mm	㎡	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径4.0mm	㎡	亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径5.0mm	㎡	規 格・仕 様			単 位	岩盤用	D22mm × 長1000mm		箇所	D25mm × 長1000mm		箇所	D29mm × 長1000mm		箇所	D32mm × 長1000mm		箇所	土中用	羽根付アンカー	径25mm × 長1500mm	箇所	高耐久アンカー （プレート羽付）	アンカー有効長1500mm	箇所	高耐久アンカー （溝形鋼羽付）	アンカー有効長2000mm	箇所	アンカー有効長1500mm	箇所	規 格・仕 様		単 位	ポケット式支柱 （アンカー固定式）	支柱高2.0m	箇所	支柱高2.5m	箇所	支柱高3.0m	箇所	支柱高3.5m	箇所	支柱高4.0m	箇所
工 種		市場単価								アン カ ー 設 置	支 柱 設 置	残 土 の 積 込	残 土 の 運 搬	残 土 の 処 理																																																																																																																																							
	機	労	材																																																																																																																																																		
支柱設置 (SS000169)	○	○	○																																																																																																																																																		
規 格・仕 様	単 位																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径2.6mm	㎡																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径3.2mm	㎡																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径4.0mm	㎡																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径5.0mm	㎡																																																																																																																																																				
規 格・仕 様			単 位																																																																																																																																																		
岩盤用	D22mm × 長1,000mm		箇所																																																																																																																																																		
	D25mm × 長1,000mm		箇所																																																																																																																																																		
	D29mm × 長1,000mm		箇所																																																																																																																																																		
	D32mm × 長1,000mm		箇所																																																																																																																																																		
土中用	羽根付アンカー	径25mm × 長1,500mm	箇所																																																																																																																																																		
	高耐久アンカー （プレート羽付）	アンカー有効長1,500mm	箇所																																																																																																																																																		
	高耐久アンカー （溝形鋼羽付）	アンカー有効長2,000mm	箇所																																																																																																																																																		
		アンカー有効長1,500mm	箇所																																																																																																																																																		
規 格・仕 様		単 位																																																																																																																																																			
ポケット式支柱 （アンカー固定式）	支柱高2.0m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高2.5m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高3.0m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高3.5m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高4.0m	箇所																																																																																																																																																			
工 種	市場単価			アン カ ー 設 置	支 柱 設 置	残 土 の 積 込	残 土 の 運 搬	残 土 の 処 理																																																																																																																																													
	機	労	材																																																																																																																																																		
支柱設置 (SS000169)	○	○	○																																																																																																																																																		
規 格・仕 様	単 位																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径2.6mm	㎡																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径3.2mm	㎡																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径4.0mm	㎡																																																																																																																																																				
亜鉛メッキ3, 4種（Z-G S 3, 4） 線径5.0mm	㎡																																																																																																																																																				
規 格・仕 様			単 位																																																																																																																																																		
岩盤用	D22mm × 長1000mm		箇所																																																																																																																																																		
	D25mm × 長1000mm		箇所																																																																																																																																																		
	D29mm × 長1000mm		箇所																																																																																																																																																		
	D32mm × 長1000mm		箇所																																																																																																																																																		
土中用	羽根付アンカー	径25mm × 長1500mm	箇所																																																																																																																																																		
	高耐久アンカー （プレート羽付）	アンカー有効長1500mm	箇所																																																																																																																																																		
	高耐久アンカー （溝形鋼羽付）	アンカー有効長2000mm	箇所																																																																																																																																																		
		アンカー有効長1500mm	箇所																																																																																																																																																		
規 格・仕 様		単 位																																																																																																																																																			
ポケット式支柱 （アンカー固定式）	支柱高2.0m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高2.5m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高3.0m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高3.5m	箇所																																																																																																																																																			
	支柱高4.0m	箇所																																																																																																																																																			

P68  
 第2章 市場単価  
 ③防護柵設置工  
 ③-1防護柵設置工（落石防止網）



令和2年度 山口県 設計標準歩掛表（一般共通編（土木工事標準単価・市場単価））  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																								
P83 第2章 市場単価 ④法面工 ④-1吹付砕工	<p style="text-align: center;">CG0701以降適用</p> <p>2-4 加算額 加算額の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.4 加算額の適用</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水切モルタル・コンクリート</td> <td>水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>表面コテ仕上げをする場合</td> <td>吹付表面をコテ仕上げをする場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>間詰モルタル・コンクリート</td> <td>間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 直接工事費の算出                      直接工事費 = (設計単価(注1) × 設計数量) + 加算額総金額(注2)                      (注1) 設計単価 = 標準の市場単価 × (1 + S<sub>1</sub>又はS<sub>2</sub>又はS<sub>3</sub>/100) × (K<sub>1</sub> × K<sub>2</sub>) (注2) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項                      市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。                      (1) 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>計算方法                          縦枠：H × ((L - W) ÷ B + 1)                          横枠：b × ((L - W) ÷ B) × ((H - W) ÷ A + 1)</p> </div> <p>(2) 土質及び法勾配は問わない。                      (3) モルタル・コンクリートの強度は18N/mm<sup>2</sup>程度以上とする。                      (4) 異形棒鋼の材質はSD295、SD345を問わない。                      (5) スターラップ（梁断面サイズ400×400以上）及び水抜パイプの有無は問わない。                      (6) 仮設ロープ等による施工を標準とする。                      (7) 主アンカー（法枠交点部のアンカー）の種類による市場単価の適用の可否は次表による。                      また、主アンカーに使用するアンカーバー及び補助アンカー（アンカーピン）の長さは1.0m以内とする。</p> <p style="text-align: center;">VI-2-④-16 83</p>	規格・仕様	適用基準	単位	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げをする場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>	<p>2-4 加算額 加算額の適用基準</p> <p style="text-align: center;">表2.4 加算額の適用</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水切モルタル・コンクリート</td> <td>水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>表面コテ仕上げをする場合</td> <td>吹付表面をコテ仕上げをする場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> <tr> <td>間詰モルタル・コンクリート</td> <td>間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。</td> <td>m<sup>2</sup></td> </tr> </tbody> </table> <p>2-5 直接工事費の算出                      直接工事費 = (設計単価(注1) × 設計数量) + 加算額総金額(注2)                      (注1) 設計単価 = 標準の市場単価 × (1 + S<sub>1</sub>又はS<sub>2</sub>又はS<sub>3</sub>/100) × (K<sub>1</sub> × K<sub>2</sub>) (注2) 加算額総金額 = 加算額 × 総数量</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項                      市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。                      (1) 法枠長を計上する際の梁の距離は、下記を基本とする。</p> <div style="text-align: center;">  <p>計算方法                          縦枠：H × ((L - W) ÷ B + 1)                          横枠：b × ((L - W) ÷ B) × ((H - W) ÷ A + 1)</p> </div> <p>(2) 土質及び法勾配は問わない。                      (3) モルタル・コンクリートの強度は18N/mm<sup>2</sup>程度以上とする。                      (4) 異形棒鋼の材質はSD295A、SD345を問わない。                      (5) スターラップ（梁断面サイズ400×400以上）及び水抜パイプの有無は問わない。                      (6) 仮設ロープ等による施工を標準とする。                      (7) 主アンカー（法枠交点部のアンカー）の種類による市場単価の適用の可否は次表による。                      また、主アンカーに使用するアンカーバー及び補助アンカー（アンカーピン）の長さは1.0m以内とする。</p> <p style="text-align: center;">VI-2-④-16 83</p>	規格・仕様	適用基準	単位	水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>	表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げをする場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>	間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>
規格・仕様	適用基準	単位																								
水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>																								
表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げをする場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>																								
間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>																								
規格・仕様	適用基準	単位																								
水切モルタル・コンクリート	水切モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>																								
表面コテ仕上げをする場合	吹付表面をコテ仕上げをする場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>																								
間詰モルタル・コンクリート	間詰モルタル・コンクリートを施工する場合、設計数量にしたがって加算する。	m <sup>2</sup>																								

頁	新	旧																																																																																																																										
P86 第2章 市場単価 ⑤道路植栽工	<p style="text-align: center;">030701 以降適用</p> <p>⑤ 道路植栽工</p> <p>1. 適用範囲                      本資料は、市場単価方式による、道路植栽工に適用する。なお、高木とは樹高3m以上、中木とは樹高60cm以上3m未満、低木とは樹高60cm未満とする。また、幹周とは根鉢の上端から高さ1.2mでの幹の周囲長とし、幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の70%とする。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲                      (1) 道路及び道路施設の植樹工、植樹管理及び移植工。                      1-2 市場単価を適用出来ない範囲                      (1) 特別調査等別途考慮するもの。                      1) 植樹工で園芸を目的として草花類を植樹する場合。                      2) 植樹工の高木幹周60cm以上90cm未満を人力施工する場合。                      3) 地被類植付工でさき類、木草本類、つる性類以外を使用する場合。                      4) 地被類植付工でコンテナ径12cmを超える被地類、または高さ(長さ)60cmを超える地被類を使用する場合。                      5) 植樹管理(せん定)で定期的なせん定を行っていない場合。                      6) 移植工のうち、あらかじめ根切りを行い、埋め戻しておき、後日移植する場合。                      7) 植樹管理(除草)を機械施工する場合。                      8) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。                      9) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用出来ない場合。</p> <p>2. 市場単価の設定                      2-1 市場単価の構成と範囲                      市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" data-bbox="448 837 1052 965"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">小</th> <th rowspan="2">植</th> <th rowspan="2">土</th> <th rowspan="2">植</th> <th rowspan="2">埋</th> <th rowspan="2">養生</th> <th rowspan="2">場</th> <th rowspan="2">残</th> <th rowspan="2">残</th> <th rowspan="2">残</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植樹工 (SS000189)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 樹木及び土壌改良材の材料費については別途計上すること。                      2. 補植において枯木の撤去を行った場合の枯木の運搬は含まれるが処分費は別途計上すること。                      3. ※については、施工コード(SS000189)で考慮されているため別途計上する必要はない。</p> <table border="1" data-bbox="448 1021 1052 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">小</th> <th rowspan="2">支</th> <th rowspan="2">積</th> <th rowspan="2">運</th> <th rowspan="2">処</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支柱設置 (SS000191)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>支柱撤去 (SS000285)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 発生材処分における運搬を含む。                      2. 運搬距離にかかわらず適用出来る。</p>	工種	市場単価			小	植	土	植	埋	養生	場	残	残	残	機	労	材	植樹工 (SS000189)	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工種	市場単価			小	支	積	運	処	機	労	材	支柱設置 (SS000191)	○	○	○	○	○	○	○	○	支柱撤去 (SS000285)	○	○	○	○	○	○	○	○	<p>⑤ 道路植栽工</p> <p>1. 適用範囲                      本資料は、市場単価方式による、道路植栽工に適用する。なお、高木とは樹高3m以上、中木とは樹高60cm以上3m未満、低木とは樹高60cm未満とする。また、幹周とは根鉢の上端から高さ1.2mでの幹の周囲長とし、幹が枝分かれしている場合の幹周は各々の総和の70%とする。</p> <p>1-1 市場単価が適用出来る範囲                      (1) 道路及び道路施設の植樹工、植樹管理及び移植工。                      1-2 市場単価を適用出来ない範囲                      (1) 特別調査等別途考慮するもの。                      1) 植樹工で園芸を目的として草花類を植樹する場合。                      2) 植樹工の高木幹周60cm以上90cm未満を人力施工する場合。                      3) 地被類植付工でさき類、木草本類、つる性類以外を使用する場合。                      4) 地被類植付工でコンテナ径12cmを超える被地類、または高さ(長さ)60cmを超える地被類を使用する場合。                      5) 移植工のうち、あらかじめ根切りを行い、埋め戻しておき、後日移植する場合。                      6) 植樹管理(除草)を機械施工する場合。                      7) 離島及び山間僻地等で、明らかに単価が異なると判断される地域の場合。                      8) その他、規格・仕様等が適合せず、市場単価が適用出来ない場合。</p> <p>2. 市場単価の設定                      2-1 市場単価の構成と範囲                      市場単価で対応しているのは、機・労・材の○及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1" data-bbox="1422 837 2027 965"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">小</th> <th rowspan="2">植</th> <th rowspan="2">土</th> <th rowspan="2">植</th> <th rowspan="2">埋</th> <th rowspan="2">養生</th> <th rowspan="2">場</th> <th rowspan="2">残</th> <th rowspan="2">残</th> <th rowspan="2">残</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>植樹工 (SS000189)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>※</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 樹木及び土壌改良材の材料費については別途計上すること。                      2. 補植において枯木の撤去を行った場合の枯木の運搬は含まれるが処分費は別途計上すること。                      3. ※については、施工コード(SS000189)で考慮されているため別途計上する必要はない。</p> <table border="1" data-bbox="1422 1021 2027 1149"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工種</th> <th colspan="3">市場単価</th> <th rowspan="2">小</th> <th rowspan="2">支</th> <th rowspan="2">積</th> <th rowspan="2">運</th> <th rowspan="2">処</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支柱設置 (SS000191)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>支柱撤去 (SS000285)</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 発生材処分における運搬を含む。                      2. 運搬距離にかかわらず適用出来る。</p>	工種	市場単価			小	植	土	植	埋	養生	場	残	残	残	機	労	材	植樹工 (SS000189)	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	工種	市場単価			小	支	積	運	処	機	労	材	支柱設置 (SS000191)	○	○	○	○	○	○	○	○	支柱撤去 (SS000285)	○	○	○	○	○	○	○	○
工種	市場単価			小	植											土	植	埋	養生	場	残	残	残																																																																																																					
	機	労	材																																																																																																																									
植樹工 (SS000189)	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																															
工種	市場単価			小	支	積	運	処																																																																																																																				
	機	労	材																																																																																																																									
支柱設置 (SS000191)	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																				
支柱撤去 (SS000285)	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																				
工種	市場単価			小	植	土	植	埋	養生	場	残	残	残																																																																																																															
	機	労	材																																																																																																																									
植樹工 (SS000189)	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																															
工種	市場単価			小	支	積	運	処																																																																																																																				
	機	労	材																																																																																																																									
支柱設置 (SS000191)	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																				
支柱撤去 (SS000285)	○	○	○	○	○	○	○	○																																																																																																																				



令和2年度 山口県 設計標準歩掛表（一般共通編（土木工事標準単価・市場単価））  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁  
 P104  
 第2章 市場単価  
 ⑥橋梁付属物工  
 ⑥-1橋梁用伸縮継手装置設置工

新

旧

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覽表

製作 会社名	伸縮装置 名称	型式	【用途関係】		【構造関係】		【構造関係】		【構造関係】		備 考
			歩道 区分	車道 区分	伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構造	補 強 鉄 筋 重量 (kg/m)	容 積 率 (%)	分 類	本 体 重 量 (kg/m)	
中 外 道 路	型番	SP-20	○	○	20~220	○	4.0	83~119	○	○	終業後引込
		SP-25	○	○	20~250	○	6.2	59~59	○	○	終業後引込
		SP-30	○	○	30~100	○	12.5	70~83	○	○	終業後引込
		SP-35	○	○	125~175	○	12.5	95~100	○	○	終業後引込
		SP-40	○	○	20~70	○	6.2~12.5	59~149	○	○	終業後引込
		SP-45	○	○	80~100	○	12.5	90~100	○	○	終業後引込
		SP-50	○	○	20~60	○	6.2~12.5	59~79	○	○	終業後引込
		SP-55	○	○	35~50	○	9.4	70~176	○	○	終業後引込
		SP-60	○	○	35~50	○	9.4	77~165	○	○	終業後引込
		SP-65	○	○	35~60	○	9.4	47~49	○	○	終業後引込
		SP-70	○	○	35~60	○	9.4	47~49	○	○	終業後引込
		SP-75	○	○	20~20	○	6.2	41~41	○	○	終業後引込
		SP-80	○	○	20~25	○	6.2	49~20	○	○	終業後引込
		SP-85	○	○	40~170	○	6.2	77.6~129.6	○	○	終業後引込
		SP-90	○	○	30	○	6.0	33.3	○	○	終業後引込
鉄 交 差 架	型番	SP-95	○	○	20~70	○	6.2	70.7~148.2	○	○	片側終業後引込
		SP-100	○	○	20~70	○	6.2	76.9~156.4	○	○	両側終業後引込
		SP-105	○	○	30	○	4.0	39.6	○	○	終業後引込

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

030701以降適用

＜参考資料＞ ◆市場単価適用可能 橋梁用伸縮継手装置一覽表

製作 会社名	伸縮装置 名称	型式	【用途関係】		【構造関係】		【構造関係】		【構造関係】		備 考
			歩道 区分	車道 区分	伸 縮 量 (mm)	非 排 水 構造	補 強 鉄 筋 重量 (kg/m)	容 積 率 (%)	分 類	本 体 重 量 (kg/m)	
中 外 道 路	型番	SP-20	○	○	20~220	○	4.0	83~119	○	○	終業後引込
		SP-25	○	○	20~250	○	6.2	59~59	○	○	終業後引込
		SP-30	○	○	30~100	○	12.5	70~83	○	○	終業後引込
		SP-35	○	○	125~175	○	12.5	95~100	○	○	終業後引込
		SP-40	○	○	20~70	○	6.2~12.5	59~149	○	○	終業後引込
		SP-45	○	○	80~100	○	12.5	90~100	○	○	終業後引込
		SP-50	○	○	20~60	○	6.2~12.5	59~79	○	○	終業後引込
		SP-55	○	○	35~50	○	9.4	70~176	○	○	終業後引込
		SP-60	○	○	35~50	○	9.4	77~165	○	○	終業後引込
		SP-65	○	○	35~60	○	9.4	47~49	○	○	終業後引込
		SP-70	○	○	35~60	○	9.4	47~49	○	○	終業後引込
		SP-75	○	○	20~20	○	6.2	41~41	○	○	終業後引込
		SP-80	○	○	20~25	○	6.2	49~20	○	○	終業後引込
		SP-85	○	○	40~170	○	6.2	77.6~129.6	○	○	終業後引込
		SP-90	○	○	30	○	6.0	33.3	○	○	終業後引込
鉄 交 差 架	型番	SP-95	○	○	20~70	○	6.2	70.7~148.2	○	○	片側終業後引込
		SP-100	○	○	20~70	○	6.2	76.9~156.4	○	○	両側終業後引込
		SP-105	○	○	30	○	4.0	39.6	○	○	終業後引込

※本体に付属するアンカーボルトが、分離可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

VI-2-⑥-6

104

VI-2-⑥-6

104



頁

P106

第2章 市場単価

⑥橋梁付属物工

⑥-1橋梁用伸縮継手装置設置工

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置 名 称 型 番	【用途関係】				【構造関係】				伸 縮 装 置 重 量 (kg/m)	本 体 重 量 (kg/1.5m)	分 類 形 式	本 体 重 量 (kg/1.5m)	本 体 重 量 (kg/1.5m)	備 考	
		歩 道 用	車 道 用	歩 道 用	車 道 用	伸 縮 装 置 重 量 (mm)	伸 縮 装 置 重 量 (kg/m)	伸 縮 装 置 重 量 (kg/1.5m)	伸 縮 装 置 重 量 (kg/1.5m)							
新 橋 梁 有 限 公 司	YMタイプ	○	○	○	○	20	4.98	11.88	○	○	○	○	○	○	○	○
	YHTタイプ	○	○	○	○	20	3.98	20.16	○	○	○	○	○	○	○	○
	YHT-Nタイプ	○	○	○	○	20	6.24	61.22~61.84	○	○	○	○	○	○	○	○
	YMFタイプ	○	○	○	○	20	6.24	102.6~106.6	○	○	○	○	○	○	○	○
ア オ イ 化 学 工 業	YHT-90-N改	○	○	○	○	90	6.24	138.4	○	○	○	○	○	○	○	○
	YFSタイプ	○	○	○	○	20	6.24	68.82~67.68	○	○	○	○	○	○	○	○
	YMFタイプ	○	○	○	○	20	6.24	91.16~92.84	○	○	○	○	○	○	○	○
	ラストアップジョイント (車道用)	○	○	○	○	20	4.0	59.4~72.7	○	○	○	○	○	○	○	○
	ラストアップジョイント (歩道用)	○	○	○	○	20	4.0	41.2~46.9	○	○	○	○	○	○	○	○
	ラストアップジョイント (車道用)	○	○	○	○	20	4.0	69.7~83.0	○	○	○	○	○	○	○	○
	ラストアップジョイント	○	○	○	○	20	4.0	76.1~82.6	○	○	○	○	○	○	○	○
	ZAKU	○	○	○	○	25	3.98	14.8	○	○	○	○	○	○	○	○
	ZAKU5	○	○	○	○	35	3.98	70	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	8.0	51.0~53.0	○	○	○	○	○	○	○	○
クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	8.0	65.0~74.0	○	○	○	○	○	○	○	○	

※本体に付属するアンカーボルトが、分類可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

030701以降適用

製 作 会 社 名	伸 縮 装 置 名 称 型 番	【用途関係】				【構造関係】				伸 縮 装 置 重 量 (kg/m)	本 体 重 量 (kg/1.5m)	分 類 形 式	本 体 重 量 (kg/1.5m)	本 体 重 量 (kg/1.5m)	備 考	
		歩 道 用	車 道 用	歩 道 用	車 道 用	伸 縮 装 置 重 量 (mm)	伸 縮 装 置 重 量 (kg/m)	伸 縮 装 置 重 量 (kg/1.5m)	伸 縮 装 置 重 量 (kg/1.5m)							
橋 梁 有 限 公 司	YMタイプ	○	○	○	○	20	4.98	11.88	○	○	○	○	○	○	○	○
	YHTタイプ	○	○	○	○	20	3.98	20.16	○	○	○	○	○	○	○	○
	YHT-Nタイプ	○	○	○	○	20	6.24	61.22~61.84	○	○	○	○	○	○	○	○
	YFSタイプ	○	○	○	○	20	6.24	102.6~106.6	○	○	○	○	○	○	○	○
ア オ イ 化 学 工 業	YMFタイプ	○	○	○	○	20	6.24	65.96~67.68	○	○	○	○	○	○	○	○
	ラストアップジョイント (車道用)	○	○	○	○	20	4.0	59.4~72.7	○	○	○	○	○	○	○	○
	ラストアップジョイント	○	○	○	○	20	4.0	41.2~46.9	○	○	○	○	○	○	○	○
	ZAKU	○	○	○	○	25	3.98	14.8	○	○	○	○	○	○	○	○
	ZAKU5	○	○	○	○	35	3.98	70	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	8.0	51.0~53.0	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	8.0	65.0~74.0	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	4.0	41.2~46.9	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	4.0	69.7~83.0	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	4.0	76.1~82.6	○	○	○	○	○	○	○	○
ク リ エ 川 工 事 有 限 公 司	ZAKU	○	○	○	○	25	3.98	70	○	○	○	○	○	○	○	○
	ZAKU5	○	○	○	○	35	3.98	70	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	8.0	51.0~53.0	○	○	○	○	○	○	○	○
	クエーベックジョイント	○	○	○	○	20	8.0	65.0~74.0	○	○	○	○	○	○	○	○

※本体に付属するアンカーボルトが、分類可能な「ボルト後締め」の場合は、本体質量に含まない。

頁  
 P114  
 第2章 市場単価  
 ⑥橋梁付属物工  
 ⑥-2橋梁用埋設型伸縮継手装置設置工

新	
030701 以降 適用	

旧	
030701 以降 適用	

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用埋設型伸縮継手装置一覧表

製作者社名	伸縮装置名称	【標準】										備 考	
		重量 区分	設置 方向	設置 位置	新設 施工法	伸 縮 量 (mm)	非 伸 縮 量 (kg/m)	材 料 区 分			種 類		
								埋設	埋設	埋設			標準断面寸法 B(mm)
アオイ化学工業	フラットアップジョイント埋設型	○	○	○	○	30.0	○	○	○	500	75	50	埋設型 断面形状不規則
山	MMジョイントDS型	○	○	○	○	40.0	○	○	○	500	75	75	埋設型 断面形状不規則
東京フアブリック工業	インナージョイント	○	○	○	○	30(±15)	○	○	○	500	75	50	埋設型 断面形状不規則
ヒーロット工業	シーメンスジョイントSJM	○	○	○	○	50.0	○	○	○	400(400)	120(40)	40(40)	埋設型 断面形状不規則
メンテナンクス九州	シーメンスジョイントSJ-P	○	○	○	○	30.0	○	○	○	400(400)	40(40)	40(40)	埋設型 断面形状不規則
横濱ゴム&レジン	MMジョイント	○	○	○	○	40	○	○	○	500	50	50	埋設型 断面形状不規則
	シーメンスジョイント	○	○	○	○	50.0	○	○	○	500	75	75	埋設型 断面形状不規則

※1. 断面寸法は、実際の設計に合わせて決定する。  
 ※2. 標準断面寸法が（ ）となっている場合は、床版厚抜き寸法を表す。

<参考資料> ◆市場単価適用可能 橋梁用埋設型伸縮継手装置一覧表

製作者社名	伸縮装置名称	【標準】										備 考	
		重量 区分	設置 方向	設置 位置	新設 施工法	伸 縮 量 (mm)	非 伸 縮 量 (kg/m)	材 料 区 分			種 類		
								埋設	埋設	埋設			標準断面寸法 B(mm)
アオイ化学工業	フラットアップジョイント埋設型	○	○	○	○	30.0	○	○	○	500	75	50	埋設型 断面形状不規則
山	MMジョイントDS型	○	○	○	○	40.0	○	○	○	500	75	75	埋設型 断面形状不規則
東京フアブリック工業	インナージョイント	○	○	○	○	30(±15)	○	○	○	500	75	50	埋設型 断面形状不規則
ヒーロット工業	シーメンスジョイントSJM	○	○	○	○	50.0	○	○	○	400(400)	120(40)	40(40)	埋設型 断面形状不規則
メンテナンクス九州	シーメンスジョイントSJ-P	○	○	○	○	30.0	○	○	○	400(400)	40(40)	40(40)	埋設型 断面形状不規則
横濱ゴム&レジン	MMジョイント	○	○	○	○	40	○	○	○	500	50	50	埋設型 断面形状不規則
	シーメンスジョイント	○	○	○	○	50.0	○	○	○	500	75	75	埋設型 断面形状不規則

※1. 断面寸法は、実際の設計に合わせて決定する。  
 ※2. 標準断面寸法が（ ）となっている場合は、床版厚抜き寸法を表す。

令和2年度 山口県 設計標準歩掛表（一般共通編（土木工事標準単価・市場単価））  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																																																																
P116 第2章 市場単価 ⑦薄層カラー舗装工	030701 以降適用  2-2 市場単価規格・仕様 薄層カラー舗装工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。 表2.1 規格・仕様区分 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">樹脂モルタル舗装工</td> <td>厚6mm以下</td> <td rowspan="3">㎡</td> </tr> <tr> <td>厚6mm超え8mm以下</td> </tr> <tr> <td>厚8mm超え10mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">景観透水性舗装工</td> <td>厚10mm以下</td> <td rowspan="2">㎡</td> </tr> <tr> <td>厚10mm超え15mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">樹脂系すべり止め舗装工</td> <td>RPN-101</td> <td rowspan="16">㎡</td> </tr> <tr><td>RPN-102</td></tr> <tr><td>RPN-103</td></tr> <tr><td>RPN-104</td></tr> <tr><td>RPN-201</td></tr> <tr><td>RPN-202</td></tr> <tr><td>RPN-203</td></tr> <tr><td>RPN-204</td></tr> <tr><td>RPN-301</td></tr> <tr><td>RPN-302</td></tr> <tr><td>RPN-303</td></tr> <tr><td>RPN-304</td></tr> <tr><td>RPN-401</td></tr> <tr><td>RPN-402</td></tr> <tr><td>RPN-501</td></tr> <tr><td>RPN-502</td></tr> <tr><td>RPN-601</td></tr> <tr><td>RPN-602</td></tr> </tbody> </table>	区分	規格・仕様	単位	樹脂モルタル舗装工	厚6mm以下	㎡	厚6mm超え8mm以下	厚8mm超え10mm以下	景観透水性舗装工	厚10mm以下	㎡	厚10mm超え15mm以下	樹脂系すべり止め舗装工	RPN-101	㎡	RPN-102	RPN-103	RPN-104	RPN-201	RPN-202	RPN-203	RPN-204	RPN-301	RPN-302	RPN-303	RPN-304	RPN-401	RPN-402	RPN-501	RPN-502	RPN-601	RPN-602	2-2 市場単価規格・仕様 薄層カラー舗装工の市場単価の規格・仕様区分は、下表のとおりである。 表2.1 規格・仕様区分 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">樹脂モルタル舗装工</td> <td>厚6mm以下</td> <td rowspan="3">㎡</td> </tr> <tr> <td>厚6mm超え8mm以下</td> </tr> <tr> <td>厚8mm超え10mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">景観透水性舗装工</td> <td>厚10mm以下</td> <td rowspan="2">㎡</td> </tr> <tr> <td>厚10mm超え15mm以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="16">樹脂系すべり止め舗装工</td> <td>RPN-101</td> <td rowspan="16">㎡</td> </tr> <tr><td>RPN-102</td></tr> <tr><td>RPN-103</td></tr> <tr><td>RPN-104</td></tr> <tr><td>RPN-201</td></tr> <tr><td>RPN-202</td></tr> <tr><td>RPN-203</td></tr> <tr><td>RPN-204</td></tr> <tr><td>RPN-301</td></tr> <tr><td>RPN-302</td></tr> <tr><td>RPN-303</td></tr> <tr><td>RPN-304</td></tr> <tr><td>RPN-401</td></tr> <tr><td>RPN-402</td></tr> <tr><td>RPN-501</td></tr> <tr><td>RPN-502</td></tr> <tr><td>RPN-601</td></tr> <tr><td>RPN-602</td></tr> </tbody> </table>	区分	規格・仕様	単位	樹脂モルタル舗装工	厚6mm以下	㎡	厚6mm超え8mm以下	厚8mm超え10mm以下	景観透水性舗装工	厚10mm以下	㎡	厚10mm超え15mm以下	樹脂系すべり止め舗装工	RPN-101	㎡	RPN-102	RPN-103	RPN-104	RPN-201	RPN-202	RPN-203	RPN-204	RPN-301	RPN-302	RPN-303	RPN-304	RPN-401	RPN-402	RPN-501	RPN-502	RPN-601	RPN-602
	区分	規格・仕様	単位																																																															
樹脂モルタル舗装工	厚6mm以下	㎡																																																																
	厚6mm超え8mm以下																																																																	
	厚8mm超え10mm以下																																																																	
景観透水性舗装工	厚10mm以下	㎡																																																																
	厚10mm超え15mm以下																																																																	
樹脂系すべり止め舗装工	RPN-101	㎡																																																																
	RPN-102																																																																	
	RPN-103																																																																	
	RPN-104																																																																	
	RPN-201																																																																	
	RPN-202																																																																	
	RPN-203																																																																	
	RPN-204																																																																	
	RPN-301																																																																	
	RPN-302																																																																	
	RPN-303																																																																	
	RPN-304																																																																	
	RPN-401																																																																	
	RPN-402																																																																	
	RPN-501																																																																	
	RPN-502																																																																	
RPN-601																																																																		
RPN-602																																																																		
区分	規格・仕様	単位																																																																
樹脂モルタル舗装工	厚6mm以下	㎡																																																																
	厚6mm超え8mm以下																																																																	
	厚8mm超え10mm以下																																																																	
景観透水性舗装工	厚10mm以下	㎡																																																																
	厚10mm超え15mm以下																																																																	
樹脂系すべり止め舗装工	RPN-101	㎡																																																																
	RPN-102																																																																	
	RPN-103																																																																	
	RPN-104																																																																	
	RPN-201																																																																	
	RPN-202																																																																	
	RPN-203																																																																	
	RPN-204																																																																	
	RPN-301																																																																	
	RPN-302																																																																	
	RPN-303																																																																	
	RPN-304																																																																	
	RPN-401																																																																	
	RPN-402																																																																	
	RPN-501																																																																	
	RPN-502																																																																	
RPN-601																																																																		
RPN-602																																																																		
	2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 表2.2 加算率・補正係数の適用基準 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">加算率</td> <td rowspan="3">標準  工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S<sub>0</sub></td> <td rowspan="3">全体数量</td> </tr> <tr><td>S<sub>1</sub></td> </tr> <tr><td>S<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td rowspan="7">対象数量</td> </tr> <tr><td>夜間作業</td> <td>K<sub>2</sub></td> </tr> <tr><td>階段ステップ部（踊り場を含む）</td> <td>K<sub>3</sub></td> </tr> <tr><td>既設アスファルト舗装面の施工</td> <td>K<sub>4</sub></td> </tr> <tr><td>コンクリート舗装面の施工</td> <td>K<sub>5</sub></td> </tr> <tr><td>トップコート無しの場合</td> <td>K<sub>6</sub></td> </tr> <tr><td>施工員が1.0m以下の場合</td> <td>K<sub>7</sub></td> </tr> </tbody> </table>	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率	標準  工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S <sub>0</sub>	全体数量	S <sub>1</sub>	S <sub>2</sub>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	対象数量	夜間作業	K <sub>2</sub>	階段ステップ部（踊り場を含む）	K <sub>3</sub>	既設アスファルト舗装面の施工	K <sub>4</sub>	コンクリート舗装面の施工	K <sub>5</sub>	トップコート無しの場合	K <sub>6</sub>	施工員が1.0m以下の場合	K <sub>7</sub>																																							
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																															
加算率	標準  工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S <sub>0</sub>	全体数量																																																															
		S <sub>1</sub>																																																																
		S <sub>2</sub>																																																																
補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	対象数量																																																															
	夜間作業	K <sub>2</sub>																																																																
	階段ステップ部（踊り場を含む）	K <sub>3</sub>																																																																
	既設アスファルト舗装面の施工	K <sub>4</sub>																																																																
	コンクリート舗装面の施工	K <sub>5</sub>																																																																
	トップコート無しの場合	K <sub>6</sub>																																																																
	施工員が1.0m以下の場合	K <sub>7</sub>																																																																

次頁



頁	新	旧																																																																							
	030701以降適用																																																																								
	2-3 加算率・補正係数 (1) 加算率・補正係数の適用基準 <div style="text-align: center;">表2.2 加算率・補正係数の適用基準</div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>規格・仕様</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加算率 施工規模</td> <td>標準</td> <td>S<sub>0</sub></td> <td rowspan="2">全体 数量</td> </tr> <tr> <td>1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。</td> <td>S<sub>1</sub> S<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td rowspan="7">補正係数</td> <td>時間的制約を受ける場合</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td rowspan="7">対象 数量</td> </tr> <tr> <td>夜間作業</td> <td>K<sub>2</sub></td> </tr> <tr> <td>階段ステップ部（踊り場を含む）</td> <td>K<sub>3</sub></td> </tr> <tr> <td>既設アスファルト舗装面の施工</td> <td>K<sub>4</sub></td> </tr> <tr> <td>コンクリート舗装面の施工</td> <td>K<sub>5</sub></td> </tr> <tr> <td>トップコート無しの場合</td> <td>K<sub>6</sub></td> </tr> <tr> <td>施工幅員が0.5m超 1.0m以下の場合</td> <td>K<sub>7</sub></td> </tr> <tr> <td>施工幅員が0.5m以下の場合</td> <td>K<sub>8</sub></td> </tr> </tbody> </table>	規格・仕様	適用基準	記号	備考	加算率 施工規模	標準	S <sub>0</sub>	全体 数量	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S <sub>1</sub> S <sub>2</sub>	補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	対象 数量	夜間作業	K <sub>2</sub>	階段ステップ部（踊り場を含む）	K <sub>3</sub>	既設アスファルト舗装面の施工	K <sub>4</sub>	コンクリート舗装面の施工	K <sub>5</sub>	トップコート無しの場合	K <sub>6</sub>	施工幅員が0.5m超 1.0m以下の場合	K <sub>7</sub>	施工幅員が0.5m以下の場合	K <sub>8</sub>	(2) 加算率・補正係数の数値 <div style="text-align: center;">表2.3 加算率・補正係数の数値</div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>記号</th> <th>樹脂モルタル 舗装工</th> <th>景観透水性 舗装工</th> <th>樹脂系すべり 止め舗装工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加算率 施工規模</td> <td>S<sub>0</sub></td> <td>(50㎡以上) 0%</td> <td>(50㎡以上) 0%</td> <td>(100㎡以上) 0%</td> </tr> <tr> <td>S<sub>1</sub></td> <td>(50㎡未満) 20%</td> <td>(50㎡未満) 20%</td> <td>(100㎡未満) 20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">補正係数</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>K<sub>2</sub></td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>K<sub>3</sub></td> <td>1.25</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K<sub>4</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>K<sub>5</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>K<sub>6</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>K<sub>7</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.20</td> </tr> </tbody> </table>	区分	記号	樹脂モルタル 舗装工	景観透水性 舗装工	樹脂系すべり 止め舗装工	加算率 施工規模	S <sub>0</sub>	(50㎡以上) 0%	(50㎡以上) 0%	(100㎡以上) 0%	S <sub>1</sub>	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%	補正係数	K <sub>1</sub>	1.05	1.05	1.05	K <sub>2</sub>	1.10	1.10	1.10	K <sub>3</sub>	1.25	—	—	K <sub>4</sub>	—	—	0.90	K <sub>5</sub>	—	—	1.10	K <sub>6</sub>	—	—	0.90	K <sub>7</sub>	—	—	1.20
規格・仕様	適用基準	記号	備考																																																																						
加算率 施工規模	標準	S <sub>0</sub>	全体 数量																																																																						
	1工事の施工規模が標準より小さい場合は、対象となる規格・仕様の単価を率で加算する。	S <sub>1</sub> S <sub>2</sub>																																																																							
補正係数	時間的制約を受ける場合	K <sub>1</sub>	対象 数量																																																																						
	夜間作業	K <sub>2</sub>																																																																							
	階段ステップ部（踊り場を含む）	K <sub>3</sub>																																																																							
	既設アスファルト舗装面の施工	K <sub>4</sub>																																																																							
	コンクリート舗装面の施工	K <sub>5</sub>																																																																							
	トップコート無しの場合	K <sub>6</sub>																																																																							
	施工幅員が0.5m超 1.0m以下の場合	K <sub>7</sub>																																																																							
施工幅員が0.5m以下の場合	K <sub>8</sub>																																																																								
区分	記号	樹脂モルタル 舗装工	景観透水性 舗装工	樹脂系すべり 止め舗装工																																																																					
加算率 施工規模	S <sub>0</sub>	(50㎡以上) 0%	(50㎡以上) 0%	(100㎡以上) 0%																																																																					
	S <sub>1</sub>	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%																																																																					
補正係数	K <sub>1</sub>	1.05	1.05	1.05																																																																					
	K <sub>2</sub>	1.10	1.10	1.10																																																																					
	K <sub>3</sub>	1.25	—	—																																																																					
	K <sub>4</sub>	—	—	0.90																																																																					
	K <sub>5</sub>	—	—	1.10																																																																					
	K <sub>6</sub>	—	—	0.90																																																																					
	K <sub>7</sub>	—	—	1.20																																																																					
P117	(2) 加算率・補正係数の数値 <div style="text-align: center;">表2.3 加算率・補正係数の数値</div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>記号</th> <th>樹脂モルタル 舗装工</th> <th>景観透水性 舗装工</th> <th>樹脂系すべり 止め舗装工</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">加算率 施工規模</td> <td>S<sub>0</sub></td> <td>(50㎡以上) 0%</td> <td>(50㎡以上) 0%</td> <td>(100㎡以上) 0%</td> </tr> <tr> <td>S<sub>1</sub></td> <td>(50㎡未満) 20%</td> <td>(50㎡未満) 20%</td> <td>(100㎡未満) 20%</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">補正係数</td> <td>K<sub>1</sub></td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> <td>1.05</td> </tr> <tr> <td>K<sub>2</sub></td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>K<sub>3</sub></td> <td>1.25</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>K<sub>4</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>K<sub>5</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>K<sub>6</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.90</td> </tr> <tr> <td>K<sub>7</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.20</td> </tr> <tr> <td>K<sub>8</sub></td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1.50</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 薄層カラー舗装工の施工規模は、樹脂モルタル舗装工、景観透水性舗装工、樹脂系すべり止め舗装工それぞれ1工事の全体数量で判定する。                      ただし、樹脂系すべり止め舗装工の施工規模は、幅員が狭い場合などにより、一日当たり</p>	区分	記号	樹脂モルタル 舗装工	景観透水性 舗装工	樹脂系すべり 止め舗装工	加算率 施工規模	S <sub>0</sub>	(50㎡以上) 0%	(50㎡以上) 0%	(100㎡以上) 0%	S <sub>1</sub>	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%	補正係数	K <sub>1</sub>	1.05	1.05	1.05	K <sub>2</sub>	1.10	1.10	1.10	K <sub>3</sub>	1.25	—	—	K <sub>4</sub>	—	—	0.90	K <sub>5</sub>	—	—	1.10	K <sub>6</sub>	—	—	0.90	K <sub>7</sub>	—	—	1.20	K <sub>8</sub>	—	—	1.50	(注) 1. 薄層カラー舗装工の施工規模は、樹脂モルタル舗装工、景観透水性舗装工、樹脂系すべり止め舗装工それぞれ1工事の全体数量で判定する。 ただし、樹脂系すべり止め舗装工の施工規模は、幅員が狭い場合などにより、一日当たりの施工量が標準施工規模に満たない場合については、一日当たりの施工数量で施工規模を判定する。 2. 施工規模加算率 (S <sub>1</sub> ) と時間的制約を受ける場合の補正係数 (K <sub>1</sub> ) が重複する場合は、施工規模加算率のみ対象とする。 3. 階段ステップ部の補正を行った場合は、施工規模加算率は適用しないが、時間的制約を受ける場合の補正係数 (K <sub>1</sub> ) は適用可能とする。 4. 既設アスファルト舗装面の施工 (K <sub>4</sub> ) の補正は、既設アスファルト面に薄層カラー舗装を施工する場合であり、切削オーバーレイや打ち換え等、舗装面が施工直後の場合、補正を行わない。 2-4 直接工事費の算出 直接工事費＝設計単価（注）×設計数量 （注）設計単価＝標準の市場単価×（1+S <sub>0</sub> or S <sub>1</sub> /100）×（K <sub>1</sub> ×K <sub>2</sub> ×……×K <sub>n</sub> ） 3. 適用にあたっての留意事項 市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。 (1) 共通事項 1) 各区分の工法は次のとおりとする。 <div style="text-align: center;">表3.1 工法の内容</div> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>目 地 模 様</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂モルタル舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。</td> </tr> <tr> <td>景観透水性舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。</td> </tr> <tr> <td>樹脂系すべり止め舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。</td> </tr> </tbody> </table>	区分	目 地 模 様	樹脂モルタル舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。	景観透水性舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。	樹脂系すべり止め舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。																
区分	記号	樹脂モルタル 舗装工	景観透水性 舗装工	樹脂系すべり 止め舗装工																																																																					
加算率 施工規模	S <sub>0</sub>	(50㎡以上) 0%	(50㎡以上) 0%	(100㎡以上) 0%																																																																					
	S <sub>1</sub>	(50㎡未満) 20%	(50㎡未満) 20%	(100㎡未満) 20%																																																																					
補正係数	K <sub>1</sub>	1.05	1.05	1.05																																																																					
	K <sub>2</sub>	1.10	1.10	1.10																																																																					
	K <sub>3</sub>	1.25	—	—																																																																					
	K <sub>4</sub>	—	—	0.90																																																																					
	K <sub>5</sub>	—	—	1.10																																																																					
	K <sub>6</sub>	—	—	0.90																																																																					
	K <sub>7</sub>	—	—	1.20																																																																					
K <sub>8</sub>	—	—	1.50																																																																						
区分	目 地 模 様																																																																								
樹脂モルタル舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。																																																																								
景観透水性舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。																																																																								
樹脂系すべり止め舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。																																																																								
第2章 市場単価 ⑦薄層カラー舗装工	VI-2-⑦-3 117	VI-2-⑦-3 117																																																																							

次頁

頁	新	旧																																																																																																																																														
<p>P118</p> <p>第2章 市場単価</p> <p>⑦薄層カラー舗装工</p>	<p style="text-align: center;">030701以降適用</p> <p>の施工量が標準施工規模に満たない場合については、一日当たりの施工数量で施工規模を判定する。</p> <p>2. 施工規模加算率（<math>S_1</math>）と時間的制約を受ける場合の補正係数（<math>K_1</math>）が重複する場合は、施工規模加算率のみ対象とする。</p> <p>3. 階段ステップ部の補正を行った場合は、施工規模加算率は適用しないが、時間的制約を受ける場合の補正係数（<math>K_1</math>）は適用可能とする。</p> <p>4. 既設アスファルト舗装面の施工（<math>K_1</math>）の補正は、既設アスファルト面に薄層カラー舗装を施工する場合であり、切削オーバーレイや打ち換え等、舗装面が施工直後の場合、補正を行わない。</p> <p>2-4 直接工費の算出              直接工事費=設計単価(注)×設計数量              (注)設計単価=標準の市場単価×(1+S<sub>0</sub> or S<sub>1</sub>/100)×(K<sub>1</sub>×K<sub>2</sub>×……×K<sub>n</sub>)</p> <p>3. 適用にあたっての留意事項              市場単価の適用にあたっては、以下の点に留意すること。</p> <p>(1) 共通事項              1) 各区分の工法は次のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表3.1 工法の内容</p> <table border="1" data-bbox="443 746 1077 879"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>目 地</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>樹脂モルタル舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。</td> </tr> <tr> <td>景観透水性舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を、使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。</td> </tr> <tr> <td>樹脂系すべり止め舗装工</td> <td>樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 下地は標準状態とし、はつり、サンダー掛け、鏝落とし及び不陸調整のための下地調整を含まないものとする。下地調整を必要とする場合は、別途計上する。(下地処理とは、施工面にあるゴミ・泥・ほこりなどを除去する簡単な作業をいう。)</p> <p>3) 斜路部の施工は、階段ステップ部の補正を適用しない。</p> <p style="text-align: center;">VI-2-⑦-4 118</p>	区 分	目 地	樹脂モルタル舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。	景観透水性舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を、使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。	樹脂系すべり止め舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。	<p>2) 下地は標準状態とし、はつり、サンダー掛け、鏝落とし及び不陸調整のための下地調整を含まないものとする。下地調整を必要とする場合は、別途計上する。(下地処理とは、施工面にあるゴミ・泥・ほこりなどを除去する簡単な作業をいう。)</p> <p>3) 斜路部の施工は、階段ステップ部の補正を適用しない。</p> <p>(2) 樹脂系すべり止め舗装工              1) 規格・仕様の内容は、次のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 規格・仕様の内容</p> <table border="1" data-bbox="1368 564 2069 1166"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>施 工 面</th> <th>内 容</th> <th>トップコート の有無</th> <th>仕上げ区分</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">樹 脂 系 す べ り 止 め 舗 装 工</td> <td>R P N-101</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R P N-102</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-103</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R P N-104</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-201</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素質(キタキ)</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td>キタキを含む</td> </tr> <tr> <td>R P N-202</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素質(キタキ)</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td>キタキを含む 排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-203</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素質(キタキ)</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>キタキを含む</td> </tr> <tr> <td>R P N-204</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素質(キタキ)</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>キタキを含む 排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-301</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R P N-302</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-303</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>ゼブラ施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R P N-304</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-401</td> <td>車道、 E T C</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>Wゼブラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R P N-402</td> <td>車道、 E T C</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>Wゼブラ</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-501</td> <td>歩道、 自転車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R P N-502</td> <td>歩道、 自転車道</td> <td>透水アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td>透水機能なし</td> </tr> <tr> <td>R P N-601</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>排水性 シート</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td>排水機能あり</td> </tr> <tr> <td>R P N-602</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>排水性 シート</td> <td>有</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>排水機能あり</td> </tr> </tbody> </table> <p>4. 施工コード              SS000215 樹脂モルタル舗装工              SS000217 景観透水性舗装工              SS000219 樹脂系すべり止め舗装工</p> <p style="text-align: center;">VI-2-⑦-4 118</p>	区分	規格・仕様	施 工 面	内 容	トップコート の有無	仕上げ区分	備 考	樹 脂 系 す べ り 止 め 舗 装 工	R P N-101	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工		R P N-102	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工	排水機能なし	R P N-103	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工		R P N-104	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工	排水機能なし	R P N-201	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	全面施工	キタキを含む	R P N-202	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	全面施工	キタキを含む 排水機能なし	R P N-203	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	ゼブラ施工	キタキを含む	R P N-204	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	ゼブラ施工	キタキを含む 排水機能なし	R P N-301	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工		R P N-302	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	排水機能なし	R P N-303	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工		R P N-304	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工	排水機能なし	R P N-401	車道、 E T C	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ		R P N-402	車道、 E T C	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ	排水機能なし	R P N-501	歩道、 自転車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工		R P N-502	歩道、 自転車道	透水アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	透水機能なし	R P N-601	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 シート	有	全面施工	排水機能あり	R P N-602	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 シート	有	ゼブラ施工	排水機能あり
区 分	目 地																																																																																																																																															
樹脂モルタル舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材を使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。																																																																																																																																															
景観透水性舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)と骨材(自然石等)を、使用したモルタルを、コテ仕上げによって路面に敷設する工法。																																																																																																																																															
樹脂系すべり止め舗装工	樹脂系材料(エポキシ樹脂)を使用し、硬質骨材を路面に接着させる工法。																																																																																																																																															
区分	規格・仕様	施 工 面	内 容	トップコート の有無	仕上げ区分	備 考																																																																																																																																										
樹 脂 系 す べ り 止 め 舗 装 工	R P N-101	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工																																																																																																																																										
	R P N-102	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工	排水機能なし																																																																																																																																									
	R P N-103	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工																																																																																																																																										
	R P N-104	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工	排水機能なし																																																																																																																																									
	R P N-201	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	全面施工	キタキを含む																																																																																																																																									
	R P N-202	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	全面施工	キタキを含む 排水機能なし																																																																																																																																									
	R P N-203	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	ゼブラ施工	キタキを含む																																																																																																																																									
	R P N-204	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素質(キタキ)	無	ゼブラ施工	キタキを含む 排水機能なし																																																																																																																																									
	R P N-301	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工																																																																																																																																										
	R P N-302	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	排水機能なし																																																																																																																																									
	R P N-303	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工																																																																																																																																										
	R P N-304	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工	排水機能なし																																																																																																																																									
	R P N-401	車道、 E T C	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ																																																																																																																																										
	R P N-402	車道、 E T C	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ	排水機能なし																																																																																																																																									
R P N-501	歩道、 自転車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工																																																																																																																																											
R P N-502	歩道、 自転車道	透水アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	透水機能なし																																																																																																																																										
R P N-601	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 シート	有	全面施工	排水機能あり																																																																																																																																										
R P N-602	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 シート	有	ゼブラ施工	排水機能あり																																																																																																																																										



令和2年度 山口県 設計標準歩掛表（一般共通編（土木工事標準単価・市場単価））  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																																																																																																																																						
P119 第2章 市場単価 ⑦薄層カラー舗装工	<p style="text-align: center;">030701 以降適用</p> <p>(2) 樹脂系すべり止め舗装工                      1) 規格・仕様の内容は、次のとおりとする。</p> <p style="text-align: center;">表3.2 規格・仕様の内容</p> <table border="1" data-bbox="389 478 1077 1059"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>規格・仕様</th> <th>施 工 面</th> <th>内 容</th> <th>トップコート の有 無</th> <th>仕上げ区分</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="14">樹 脂 系 す べ り 止 め 舗 装 工</td> <td>RPN-101</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RPN-102</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-103</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RPN-104</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>黒</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-201</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素 質(砂)</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td>カーキ砂を含む</td> </tr> <tr> <td>RPN-202</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素 質(砂)</td> <td>無</td> <td>全面施工</td> <td>カーキ砂を含む 排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-203</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素 質(砂)</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>カーキ砂を含む</td> </tr> <tr> <td>RPN-204</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>炭化珪素 質(砂)</td> <td>無</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>カーキ砂を含む 排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-301</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RPN-302</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-303</td> <td>車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>ゼブラ施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RPN-304</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-401</td> <td>車道、 E T C</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>Wゼブラ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RPN-402</td> <td>車道、 E T C</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>Wゼブラ</td> <td>排水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-501</td> <td>歩道、 自転車道</td> <td>密粒アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td></td> </tr> <tr> <td>RPN-502</td> <td>歩道、 自転車道</td> <td>透水性アスファルト面(新設)</td> <td>カートップ</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td>透水機能なし</td> </tr> <tr> <td>RPN-601</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>排水性 ニート</td> <td>有</td> <td>全面施工</td> <td>排水機能あり</td> </tr> <tr> <td>RPN-602</td> <td>車道</td> <td>排水性アスファルト面(新設)</td> <td>排水性 ニート</td> <td>有</td> <td>ゼブラ施工</td> <td>排水機能あり</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 随意契約による調整を行う場合の取扱いは、現工事の施工規模を考慮せず、単独工事として数量を判定する。</p> <p>4. 施工コード                      SS000215 樹脂モルタル舗装工                      SS000217 景観透水性舗装工                      SS000219 樹脂系すべり止め舗装工</p> <p style="text-align: center;">VI-2-⑦-5 119</p>	区分	規格・仕様	施 工 面	内 容	トップコート の有 無	仕上げ区分	備 考	樹 脂 系 す べ り 止 め 舗 装 工	RPN-101	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工		RPN-102	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工	排水機能なし	RPN-103	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工		RPN-104	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工	排水機能なし	RPN-201	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	全面施工	カーキ砂を含む	RPN-202	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	全面施工	カーキ砂を含む 排水機能なし	RPN-203	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	ゼブラ施工	カーキ砂を含む	RPN-204	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	ゼブラ施工	カーキ砂を含む 排水機能なし	RPN-301	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工		RPN-302	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	排水機能なし	RPN-303	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工		RPN-304	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工	排水機能なし	RPN-401	車道、 E T C	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ		RPN-402	車道、 E T C	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ	排水機能なし	RPN-501	歩道、 自転車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工		RPN-502	歩道、 自転車道	透水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	透水機能なし	RPN-601	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 ニート	有	全面施工	排水機能あり	RPN-602	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 ニート	有	ゼブラ施工	排水機能あり	
区分	規格・仕様	施 工 面	内 容	トップコート の有 無	仕上げ区分	備 考																																																																																																																																		
樹 脂 系 す べ り 止 め 舗 装 工	RPN-101	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工																																																																																																																																		
	RPN-102	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	全面施工	排水機能なし																																																																																																																																	
	RPN-103	車道	密粒アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工																																																																																																																																		
	RPN-104	車道	排水性アスファルト面(新設)	黒	無	ゼブラ施工	排水機能なし																																																																																																																																	
	RPN-201	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	全面施工	カーキ砂を含む																																																																																																																																	
	RPN-202	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	全面施工	カーキ砂を含む 排水機能なし																																																																																																																																	
	RPN-203	車道	密粒アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	ゼブラ施工	カーキ砂を含む																																																																																																																																	
	RPN-204	車道	排水性アスファルト面(新設)	炭化珪素 質(砂)	無	ゼブラ施工	カーキ砂を含む 排水機能なし																																																																																																																																	
	RPN-301	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工																																																																																																																																		
	RPN-302	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	排水機能なし																																																																																																																																	
	RPN-303	車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工																																																																																																																																		
	RPN-304	車道	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	ゼブラ施工	排水機能なし																																																																																																																																	
	RPN-401	車道、 E T C	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ																																																																																																																																		
	RPN-402	車道、 E T C	排水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	Wゼブラ	排水機能なし																																																																																																																																	
RPN-501	歩道、 自転車道	密粒アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工																																																																																																																																			
RPN-502	歩道、 自転車道	透水性アスファルト面(新設)	カートップ	有	全面施工	透水機能なし																																																																																																																																		
RPN-601	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 ニート	有	全面施工	排水機能あり																																																																																																																																		
RPN-602	車道	排水性アスファルト面(新設)	排水性 ニート	有	ゼブラ施工	排水機能あり																																																																																																																																		

令和2年度 山口県 設計標準歩掛表（一般共通編（土木工事標準単価・市場単価））  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																																																																																																																																																																																																																		
P123 第2章 市場単価 ⑧道路標識設置工	030701以降適用 <div style="text-align: center;">表2.3 標識柱設置(片持式)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">標識柱設置 片持式</td> <td>《材料費》</td> <td>各種</td> <td>アンカーボルト含まず</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">《設置手間》</td> <td>基礎別途計上</td> <td>1基当りの総質量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>400kg未満</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>400kg以上</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.4 標識柱設置(門型式)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">標識柱設置 門型式</td> <td>《材料費》</td> <td>各種</td> <td>アンカーボルト含まず</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">《設置手間》</td> <td>基礎別途計上</td> <td>1スパンの長さ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10m未満</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10m以上20m未満</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20m以上</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.5 標識基礎設置(片持式・門型式)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">標識基礎設置 《材共》</td> <td rowspan="2">コンクリート基礎 アンカーボルトの 材料費は別途計上</td> <td>標識柱1基当りの 基礎コンクリート容量</td> <td>4.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.0㎡以上6.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6.0㎡以上</td> <td>㎡</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.6 標識板設置(案内標識・新設〔路線番号除く〕)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="3">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標識板設置 (案内標識) 《材共》 路線番号は除く</td> <td rowspan="6">路側式 片持式 門型式 添架式 取付金具(クランプ型 ブラケットを除く)を含む</td> <td rowspan="6">新設</td> <td rowspan="2">広角プリズム</td> <td>1枚当りの面積</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カプセルプリズム・ カプセルレンズ</td> <td>2.0㎡以上</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">封入プリズム・ 封入レンズ</td> <td>2.0㎡以上</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.7 標識板設置(案内標識・移設〔路線番号除く〕)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="3">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く</td> <td rowspan="2">路側式 片持式 門型式 添架式</td> <td rowspan="2">移設</td> <td>1枚当りの面積</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0㎡以上</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.8 標識板設置(警戒・規制・指示・路線番号標識)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)</td> <td>《設置手間》 材料費は別途計上</td> <td>警戒・規制・指示・ 路線番号標識</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.9 添架式標識板取付金具設置</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">添架式標識板 取付金具設置</td> <td rowspan="2">《材共》</td> <td>信号アーム部に取付け</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>照明柱・既設標識柱に取付け</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>《設置手間》</td> <td>歩道橋に取付け(添架式取付金具材料費は別途計上)</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 設置する取付金具の基数は、標識板1枚当りの取付金具一式を1基として計上する。                      取付金具の数量については、3.適用にあたっての留意事項(3)、(5)を参照。</p>	区分	規格・仕様		単位	標識柱設置 片持式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず	《設置手間》	基礎別途計上	1基当りの総質量		400kg未満	kg			400kg以上	基	区分	規格・仕様		単位	標識柱設置 門型式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず	《設置手間》	基礎別途計上	1スパンの長さ		10m未満	kg		10m以上20m未満	基			20m以上	基	区分	規格・仕様		単位	標識基礎設置 《材共》	コンクリート基礎 アンカーボルトの 材料費は別途計上	標識柱1基当りの 基礎コンクリート容量	4.0㎡未満		4.0㎡以上6.0㎡未満			6.0㎡以上	㎡	区分	規格・仕様			単位	標識板設置 (案内標識) 《材共》 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式 取付金具(クランプ型 ブラケットを除く)を含む	新設	広角プリズム	1枚当りの面積	2.0㎡未満	カプセルプリズム・ カプセルレンズ	2.0㎡以上	2.0㎡未満	封入プリズム・ 封入レンズ	2.0㎡以上	2.0㎡未満	区分	規格・仕様			単位	標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式	移設	1枚当りの面積	2.0㎡未満				2.0㎡以上	区分	規格・仕様		単位	標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)	《設置手間》 材料費は別途計上	警戒・規制・指示・ 路線番号標識	基	区分	規格・仕様		単位	添架式標識板 取付金具設置	《材共》	信号アーム部に取付け	基	照明柱・既設標識柱に取付け	基	《設置手間》	歩道橋に取付け(添架式取付金具材料費は別途計上)	基	<div style="text-align: center;">表2.3 標識柱設置(片持式)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">標識柱設置 片持式</td> <td>《材料費》</td> <td>各種</td> <td>アンカーボルト含まず</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">《設置手間》</td> <td>基礎別途計上</td> <td>1基当りの総質量</td> </tr> <tr> <td></td> <td>400kg未満</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>400kg以上</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.4 標識柱設置(門型式)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">標識柱設置 門型式</td> <td>《材料費》</td> <td>各種</td> <td>アンカーボルト含まず</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">《設置手間》</td> <td>基礎別途計上</td> <td>1スパンの長さ</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10m未満</td> <td>kg</td> </tr> <tr> <td></td> <td>10m以上20m未満</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>20m以上</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.5 標識基礎設置(片持式・門型式)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">標識基礎設置 《材共》</td> <td rowspan="2">コンクリート基礎 アンカーボルトの 材料費は別途計上</td> <td>標識柱1基当りの 基礎コンクリート容量</td> <td>4.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4.0㎡以上6.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>6.0㎡以上</td> <td>㎡</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.6 標識板設置(案内標識・新設〔路線番号除く〕)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="3">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">標識板設置 (案内標識) 《材共》 路線番号は除く</td> <td rowspan="6">路側式 片持式 門型式 添架式 取付金具(クランプ型 ブラケットを除く)を含む</td> <td rowspan="6">新設</td> <td rowspan="2">広角プリズム</td> <td>1枚当りの面積</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">カプセルプリズム・ カプセルレンズ</td> <td>2.0㎡以上</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">封入プリズム・ 封入レンズ</td> <td>2.0㎡以上</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.7 標識板設置(案内標識・移設〔路線番号除く〕)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="3">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く</td> <td rowspan="2">路側式 片持式 門型式 添架式</td> <td rowspan="2">移設</td> <td>1枚当りの面積</td> </tr> <tr> <td>2.0㎡未満</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2.0㎡以上</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.8 標識板設置(警戒・規制・指示・路線番号標識)</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)</td> <td>《設置手間》 材料費は別途計上</td> <td>警戒・規制・指示・ 路線番号標識</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <div style="text-align: center;">表2.9 添架式標識板取付金具設置</div> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th colspan="2">規格・仕様</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">添架式標識板 取付金具設置</td> <td rowspan="2">《材共》</td> <td>信号アーム部に取付け</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>照明柱・既設標識柱に取付け</td> <td>基</td> </tr> <tr> <td>《設置手間》</td> <td>歩道橋に取付け(添架式取付金具材料費は別途計上)</td> <td>基</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 設置する取付金具の基数は、標識板1枚当りの取付金具一式を1基として計上する。                      取付金具の数量については、3.適用にあたっての留意事項(3)、(5)を参照。</p>	区分	規格・仕様		単位	標識柱設置 片持式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず	《設置手間》	基礎別途計上	1基当りの総質量		400kg未満	kg			400kg以上	基	区分	規格・仕様		単位	標識柱設置 門型式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず	《設置手間》	基礎別途計上	1スパンの長さ		10m未満	kg		10m以上20m未満	基			20m以上	基	区分	規格・仕様		単位	標識基礎設置 《材共》	コンクリート基礎 アンカーボルトの 材料費は別途計上	標識柱1基当りの 基礎コンクリート容量	4.0㎡未満		4.0㎡以上6.0㎡未満			6.0㎡以上	㎡	区分	規格・仕様			単位	標識板設置 (案内標識) 《材共》 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式 取付金具(クランプ型 ブラケットを除く)を含む	新設	広角プリズム	1枚当りの面積	2.0㎡未満	カプセルプリズム・ カプセルレンズ	2.0㎡以上	2.0㎡未満	封入プリズム・ 封入レンズ	2.0㎡以上	2.0㎡未満	区分	規格・仕様			単位	標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式	移設	1枚当りの面積	2.0㎡未満				2.0㎡以上	区分	規格・仕様		単位	標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)	《設置手間》 材料費は別途計上	警戒・規制・指示・ 路線番号標識	基	区分	規格・仕様		単位	添架式標識板 取付金具設置	《材共》	信号アーム部に取付け	基	照明柱・既設標識柱に取付け	基	《設置手間》	歩道橋に取付け(添架式取付金具材料費は別途計上)	基
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識柱設置 片持式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず																																																																																																																																																																																																																	
	《設置手間》	基礎別途計上	1基当りの総質量																																																																																																																																																																																																																	
			400kg未満	kg																																																																																																																																																																																																																
		400kg以上	基																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識柱設置 門型式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず																																																																																																																																																																																																																	
	《設置手間》	基礎別途計上	1スパンの長さ																																																																																																																																																																																																																	
			10m未満	kg																																																																																																																																																																																																																
			10m以上20m未満	基																																																																																																																																																																																																																
		20m以上	基																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識基礎設置 《材共》	コンクリート基礎 アンカーボルトの 材料費は別途計上	標識柱1基当りの 基礎コンクリート容量	4.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																	
			4.0㎡以上6.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																	
			6.0㎡以上	㎡																																																																																																																																																																																																																
区分	規格・仕様			単位																																																																																																																																																																																																																
標識板設置 (案内標識) 《材共》 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式 取付金具(クランプ型 ブラケットを除く)を含む	新設	広角プリズム	1枚当りの面積																																																																																																																																																																																																																
				2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																
			カプセルプリズム・ カプセルレンズ	2.0㎡以上																																																																																																																																																																																																																
				2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																
			封入プリズム・ 封入レンズ	2.0㎡以上																																																																																																																																																																																																																
				2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																
区分	規格・仕様			単位																																																																																																																																																																																																																
標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式	移設	1枚当りの面積																																																																																																																																																																																																																	
			2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																	
			2.0㎡以上																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)	《設置手間》 材料費は別途計上	警戒・規制・指示・ 路線番号標識	基																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
添架式標識板 取付金具設置	《材共》	信号アーム部に取付け	基																																																																																																																																																																																																																	
		照明柱・既設標識柱に取付け	基																																																																																																																																																																																																																	
	《設置手間》	歩道橋に取付け(添架式取付金具材料費は別途計上)	基																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識柱設置 片持式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず																																																																																																																																																																																																																	
	《設置手間》	基礎別途計上	1基当りの総質量																																																																																																																																																																																																																	
			400kg未満	kg																																																																																																																																																																																																																
		400kg以上	基																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識柱設置 門型式	《材料費》	各種	アンカーボルト含まず																																																																																																																																																																																																																	
	《設置手間》	基礎別途計上	1スパンの長さ																																																																																																																																																																																																																	
			10m未満	kg																																																																																																																																																																																																																
			10m以上20m未満	基																																																																																																																																																																																																																
		20m以上	基																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識基礎設置 《材共》	コンクリート基礎 アンカーボルトの 材料費は別途計上	標識柱1基当りの 基礎コンクリート容量	4.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																	
			4.0㎡以上6.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																	
			6.0㎡以上	㎡																																																																																																																																																																																																																
区分	規格・仕様			単位																																																																																																																																																																																																																
標識板設置 (案内標識) 《材共》 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式 取付金具(クランプ型 ブラケットを除く)を含む	新設	広角プリズム	1枚当りの面積																																																																																																																																																																																																																
				2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																
			カプセルプリズム・ カプセルレンズ	2.0㎡以上																																																																																																																																																																																																																
				2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																
			封入プリズム・ 封入レンズ	2.0㎡以上																																																																																																																																																																																																																
				2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																
区分	規格・仕様			単位																																																																																																																																																																																																																
標識板設置 (案内標識) 路線番号は除く	路側式 片持式 門型式 添架式	移設	1枚当りの面積																																																																																																																																																																																																																	
			2.0㎡未満																																																																																																																																																																																																																	
			2.0㎡以上																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
標識板設置 (警戒・規制・指示・ 路線番号標識)	《設置手間》 材料費は別途計上	警戒・規制・指示・ 路線番号標識	基																																																																																																																																																																																																																	
区分	規格・仕様		単位																																																																																																																																																																																																																	
添架式標識板 取付金具設置	《材共》	信号アーム部に取付け	基																																																																																																																																																																																																																	
		照明柱・既設標識柱に取付け	基																																																																																																																																																																																																																	
	《設置手間》	歩道橋に取付け(添架式取付金具材料費は別途計上)	基																																																																																																																																																																																																																	

頁	新	旧																																																														
P119 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	<p style="text-align: center;">030701以降適用</p> <p>2-2-4 日当たり作業量                      日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2. 2. 2 サンプリングの日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定ピストン式シワールンナー(シワールンナーリング)</td> <td>本</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ローリ式二重管ランナー(テニシキップリング)</td> <td>〃</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ローリ式三重管ランナー(トリプルキップリング)</td> <td>〃</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3 サウンディング及び原位置試験</p> <p>2-3-1 適用範囲                      サウンディング及び原位置試験は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>1. 市場単価が適用できる範囲                          サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。</p> </div> <p>2-3-2 編成人員                      滞在費を算出するためのサウンディング及び原位置試験の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲                      市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サウンディング及び原位置試験</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">機材搬入</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">足場仮設置</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">せん孔</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">サンプリング</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">サウンディング及び原位置試験</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">足場仮撤去</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">機材搬出</div> </div> <p style="text-align: right;">2-2-8 119</p>	種別・規格	単位	日当たり作業量	固定ピストン式シワールンナー(シワールンナーリング)	本	5	ローリ式二重管ランナー(テニシキップリング)	〃	4	ローリ式三重管ランナー(トリプルキップリング)	〃	3	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調査費	市場単価			機	労	材	サウンディング及び原位置試験	○	○	○	<p>2-2-4 日当たり作業量                      日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2. 2. 2 サンプリングの日当たり作業量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>固定ピストン式シワールンナー(シワールンナーリング)</td> <td>本</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>ローリ式二重管ランナー(テニシキップリング)</td> <td>〃</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>ローリ式三重管ランナー(トリプルキップリング)</td> <td>〃</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3 サウンディング及び原位置試験</p> <p>2-3-1 適用範囲                      サウンディング及び原位置試験は、市場単価方式による地質調査に適用する。</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>1. 市場単価が適用できる範囲                          サウンディング及び原位置試験のうち、標準貫入試験、プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)、現場透水試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験に適用する。</p> </div> <p>2-3-2 編成人員                      滞在費を算出するためのサウンディング及び原位置試験の編成人員は次表を標準とする。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>職種</th> <th>地質調査技師</th> <th>主任地質調査員</th> <th>地質調査員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員</td> <td>0.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>2-3-3 市場単価の設定</p> <p>1. 市場単価の構成と範囲                      市場単価で対応しているのは、機・労・材の○印及びフロー図の実線部分である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調査費</th> <th colspan="3">市場単価</th> </tr> <tr> <th>機</th> <th>労</th> <th>材</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サウンディング及び原位置試験</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> </tbody> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">機材搬入</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">足場仮設置</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">せん孔</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">サンプリング</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">サウンディング及び原位置試験</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">間接調査費</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">足場仮撤去</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">現場内小運搬</div> <div style="border: 1px dashed gray; padding: 2px;">機材搬出</div> </div> <p style="text-align: right;">2-2-8 119</p>	種別・規格	単位	日当たり作業量	固定ピストン式シワールンナー(シワールンナーリング)	本	5	ローリ式二重管ランナー(テニシキップリング)	〃	4	ローリ式三重管ランナー(トリプルキップリング)	〃	3	職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員	人員	0.5	1.0	1.0	調査費	市場単価			機	労	材	サウンディング及び原位置試験	○	○	○
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																														
固定ピストン式シワールンナー(シワールンナーリング)	本	5																																																														
ローリ式二重管ランナー(テニシキップリング)	〃	4																																																														
ローリ式三重管ランナー(トリプルキップリング)	〃	3																																																														
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																													
人員	0.5	1.0	1.0																																																													
調査費	市場単価																																																															
	機	労	材																																																													
サウンディング及び原位置試験	○	○	○																																																													
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																														
固定ピストン式シワールンナー(シワールンナーリング)	本	5																																																														
ローリ式二重管ランナー(テニシキップリング)	〃	4																																																														
ローリ式三重管ランナー(トリプルキップリング)	〃	3																																																														
職種	地質調査技師	主任地質調査員	地質調査員																																																													
人員	0.5	1.0	1.0																																																													
調査費	市場単価																																																															
	機	労	材																																																													
サウンディング及び原位置試験	○	○	○																																																													

頁	新	旧																																																																																								
P120 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	030701以降適用																																																																																									
	2. 市場単価の規格・仕様区分 表2. 3. 1 サウンディング及び原位置試験の規格区分	2. 市場単価の規格・仕様区分 表2. 3. 1 サウンディング及び原位置試験の規格区分																																																																																								
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>( SSE007 )</td> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験) ( SSE009 )</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m<sup>2</sup>以下) G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験 ( SSE011 )</td> <td>オーガー法</td> <td>G L-10m以内</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法</td> <td>G L-10m以内</td> </tr> <tr> <td>一重管式</td> <td>G L-20m以内</td> </tr> <tr> <td>二重管式</td> <td>G L-20m以内</td> </tr> <tr> <td>揚水法</td> <td>G L-20m以内</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング ( SSE013 )</td> <td>G L-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験 ( SSE015 )</td> <td>20kN G L-30m以内 100kN G L-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ポータブルコーン貫入試験 ( SSE017 )</td> <td>単管式 G L-5m以内 二重管式 G L-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	種別	規格	単位	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	( SSE007 )	軟岩	〃	孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験) ( SSE009 )	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃	現場透水試験 ( SSE011 )	オーガー法	G L-10m以内	ケーシング法	G L-10m以内	一重管式	G L-20m以内	二重管式	G L-20m以内	揚水法	G L-20m以内	スウェーデン式サウンディング ( SSE013 )	G L-10m以内 N値4以内	m	機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験 ( SSE015 )	20kN G L-30m以内 100kN G L-30m以内	〃	ポータブルコーン貫入試験 ( SSE017 )	単管式 G L-5m以内 二重管式 G L-5m以内	〃	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>( SSE007 )</td> <td>軟岩</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験) ( SSE009 )</td> <td>普通載荷 (2.5MN/m<sup>2</sup>以下) G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験 ( SSE011 )</td> <td>オーガー法</td> <td>G L-10m以内</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法</td> <td>G L-10m以内</td> </tr> <tr> <td>一重管式</td> <td>G L-20m以内</td> </tr> <tr> <td>二重管式</td> <td>G L-20m以内</td> </tr> <tr> <td>揚水法</td> <td>G L-20m以内</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン式サウンディング ( SSE013 )</td> <td>G L-10m以内 N値4以内</td> <td>m</td> </tr> <tr> <td>機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験 ( SSE015 )</td> <td>20kN G L-30m以内 100kN G L-30m以内</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>ポータブルコーン貫入試験 ( SSE017 )</td> <td>単管式 G L-5m以内 二重管式 G L-5m以内</td> <td>〃</td> </tr> </tbody> </table>	種別	規格	単位	標準貫入試験	粘性土・シルト	回	砂・砂質土	〃	礫混じり土砂	〃	玉石混じり土砂	〃	固結シルト・固結粘土	〃	( SSE007 )	軟岩	〃	プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験) ( SSE009 )	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃	現場透水試験 ( SSE011 )	オーガー法	G L-10m以内	ケーシング法	G L-10m以内	一重管式	G L-20m以内	二重管式	G L-20m以内	揚水法	G L-20m以内	スウェーデン式サウンディング ( SSE013 )	G L-10m以内 N値4以内	m	機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験 ( SSE015 )	20kN G L-30m以内 100kN G L-30m以内	〃	ポータブルコーン貫入試験 ( SSE017 )	単管式 G L-5m以内 二重管式 G L-5m以内	〃
	種別	規格	単位																																																																																							
	標準貫入試験	粘性土・シルト	回																																																																																							
		砂・砂質土	〃																																																																																							
		礫混じり土砂	〃																																																																																							
		玉石混じり土砂	〃																																																																																							
		固結シルト・固結粘土	〃																																																																																							
	( SSE007 )	軟岩	〃																																																																																							
孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験) ( SSE009 )	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃																																																																																								
	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃																																																																																								
	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃																																																																																								
現場透水試験 ( SSE011 )	オーガー法	G L-10m以内																																																																																								
	ケーシング法	G L-10m以内																																																																																								
	一重管式	G L-20m以内																																																																																								
	二重管式	G L-20m以内																																																																																								
	揚水法	G L-20m以内																																																																																								
スウェーデン式サウンディング ( SSE013 )	G L-10m以内 N値4以内	m																																																																																								
機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験 ( SSE015 )	20kN G L-30m以内 100kN G L-30m以内	〃																																																																																								
ポータブルコーン貫入試験 ( SSE017 )	単管式 G L-5m以内 二重管式 G L-5m以内	〃																																																																																								
種別	規格	単位																																																																																								
標準貫入試験	粘性土・シルト	回																																																																																								
	砂・砂質土	〃																																																																																								
	礫混じり土砂	〃																																																																																								
	玉石混じり土砂	〃																																																																																								
	固結シルト・固結粘土	〃																																																																																								
( SSE007 )	軟岩	〃																																																																																								
プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験) ( SSE009 )	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃																																																																																								
	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃																																																																																								
	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃																																																																																								
現場透水試験 ( SSE011 )	オーガー法	G L-10m以内																																																																																								
	ケーシング法	G L-10m以内																																																																																								
	一重管式	G L-20m以内																																																																																								
	二重管式	G L-20m以内																																																																																								
	揚水法	G L-20m以内																																																																																								
スウェーデン式サウンディング ( SSE013 )	G L-10m以内 N値4以内	m																																																																																								
機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験 ( SSE015 )	20kN G L-30m以内 100kN G L-30m以内	〃																																																																																								
ポータブルコーン貫入試験 ( SSE017 )	単管式 G L-5m以内 二重管式 G L-5m以内	〃																																																																																								
3. 補正係数の設定 表2. 3. 2 現場透水試験の補正係数	3. 補正係数の設定 表2. 3. 2 現場透水試験の補正係数																																																																																									
<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験 ケーシング法</td> <td>G L-10m以内</td> <td>K1</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>G L-20m以内</td> <td>K2</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>G L-30m以内</td> <td>K3</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>G L-40m以内</td> <td>K4</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>G L-50m以内</td> <td>K5</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 二重管式</td> <td>G L-20m以内</td> <td>K6</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>G L-40m以内</td> <td>K7</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 揚水法</td> <td>G L-20m以内</td> <td>K8</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>G L-40m以内</td> <td>K9</td> <td>1.15</td> </tr> </tbody> </table>	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	現場透水試験 ケーシング法	G L-10m以内	K1	1.00	G L-20m以内	K2	1.10	G L-30m以内	K3	1.15	G L-40m以内	K4	1.25	G L-50m以内	K5	1.30	現場透水試験 二重管式	G L-20m以内	K6	1.00	G L-40m以内	K7	1.15	現場透水試験 揚水法	G L-20m以内	K8	1.00	G L-40m以内	K9	1.15	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>補正の区分</th> <th>適用基準</th> <th>記号</th> <th>補正係数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">現場透水試験 ケーシング法</td> <td>G L-10m以内</td> <td>K1</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>G L-20m以内</td> <td>K2</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>G L-30m以内</td> <td>K3</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td>G L-40m以内</td> <td>K4</td> <td>1.25</td> </tr> <tr> <td>G L-50m以内</td> <td>K5</td> <td>1.30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 二重管式</td> <td>G L-20m以内</td> <td>K6</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>G L-40m以内</td> <td>K7</td> <td>1.15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">現場透水試験 揚水法</td> <td>G L-20m以内</td> <td>K8</td> <td>1.00</td> </tr> <tr> <td>G L-40m以内</td> <td>K9</td> <td>1.15</td> </tr> </tbody> </table>	補正の区分	適用基準	記号	補正係数	現場透水試験 ケーシング法	G L-10m以内	K1	1.00	G L-20m以内	K2	1.10	G L-30m以内	K3	1.15	G L-40m以内	K4	1.25	G L-50m以内	K5	1.30	現場透水試験 二重管式	G L-20m以内	K6	1.00	G L-40m以内	K7	1.15	現場透水試験 揚水法	G L-20m以内	K8	1.00	G L-40m以内	K9	1.15																					
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																							
現場透水試験 ケーシング法	G L-10m以内	K1	1.00																																																																																							
	G L-20m以内	K2	1.10																																																																																							
	G L-30m以内	K3	1.15																																																																																							
	G L-40m以内	K4	1.25																																																																																							
	G L-50m以内	K5	1.30																																																																																							
現場透水試験 二重管式	G L-20m以内	K6	1.00																																																																																							
	G L-40m以内	K7	1.15																																																																																							
現場透水試験 揚水法	G L-20m以内	K8	1.00																																																																																							
	G L-40m以内	K9	1.15																																																																																							
補正の区分	適用基準	記号	補正係数																																																																																							
現場透水試験 ケーシング法	G L-10m以内	K1	1.00																																																																																							
	G L-20m以内	K2	1.10																																																																																							
	G L-30m以内	K3	1.15																																																																																							
	G L-40m以内	K4	1.25																																																																																							
	G L-50m以内	K5	1.30																																																																																							
現場透水試験 二重管式	G L-20m以内	K6	1.00																																																																																							
	G L-40m以内	K7	1.15																																																																																							
現場透水試験 揚水法	G L-20m以内	K8	1.00																																																																																							
	G L-40m以内	K9	1.15																																																																																							
4. 直接調査費の算出 直接調査費=設計単価×設計数量 設計単価=標準の市場単価×(K1~K9)	4. 直接調査費の算出 直接調査費=設計単価×設計数量 設計単価=標準の市場単価×(K1~K9)																																																																																									
2-3-4 適用に当たっての留意事項	2-3-4 適用に当たっての留意事項																																																																																									
1. 孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、L L T及びK K Tを標準とする。土研式を使用する場合は、別途計上する。 2. サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。 3. 現場透水試験は、資料整理(内業)を含むものとする。 4. 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。	1. プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)における普通載荷及び中圧載荷は、測定器がプレシオメーター、L L T及びK K Tを標準とする。土研式を使用する場合は、別途計上する。 2. サウンディング及び原位置試験に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。 3. 現場透水試験は、資料整理(内業)を含むものとする。 4. 現場透水試験は、孔内洗浄を含むものとする。																																																																																									
2-2-9	2-2-9	2-2-9																																																																																								
120	120	120																																																																																								

令和2年度 山口県 業務関係積算基準及び標準歩掛表  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																																																																																												
P121 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	<p style="text-align: center;">030701以降適用</p> <p>2-3-5 日当たり作業量                      日当たり作業量は下表を標準とする。                      表2.3.3 サウンディング及び原位置試験の日当たり作業量</p> <table border="1" data-bbox="398 432 1066 842"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回 12.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃 10.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃 8.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)</td> <td>軟岩</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>普通載荷 (2.5MN/m<sup>2</sup>以下) G L-50m以内</td> <td>〃 3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">現場透水試験</td> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>オーガー法 G L-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 G L-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>一重管式 G L-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>揚水法 G L-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>スケーション式サウンディング G L-10m以内 N値4以内</td> <td>m 22.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験</td> <td>20kN G L-30m以内</td> <td>〃 12.0</td> </tr> <tr> <td>100kN G L-30m以内</td> <td>〃 11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ボーラーگون貫入試験</td> <td>単管式 G L-5m以内</td> <td>〃 25.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-5m以内</td> <td>〃 15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。</p>	種別・規格	単位	日当たり作業量	標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0	砂・砂質土	〃 10.0	礫混じり土砂	〃 8.0	玉石混じり土砂	〃 7.0	固結シルト・固結粘土	〃 7.0	孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)	軟岩	〃 7.0	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃 3.0	現場透水試験	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0	オーガー法 G L-10m以内	〃 2.0	ケーシング法 G L-10m以内	〃 2.0	一重管式 G L-20m以内	〃 1.0	二重管式 G L-20m以内	〃 1.0	揚水法 G L-20m以内	〃 1.0	スケーション式サウンディング G L-10m以内 N値4以内	m 22.0	機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験	20kN G L-30m以内	〃 12.0	100kN G L-30m以内	〃 11.0	ボーラーگون貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃 25.0	二重管式 G L-5m以内	〃 15.0	<p>2-3-5 日当たり作業量                      日当たり作業量は下表を標準とする。                      表2.3.3 サウンディング及び原位置試験の日当たり作業量</p> <table border="1" data-bbox="1339 432 2007 842"> <thead> <tr> <th>種別・規格</th> <th>単位</th> <th>日当たり作業量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">標準貫入試験</td> <td>粘性土・シルト</td> <td>回 12.0</td> </tr> <tr> <td>砂・砂質土</td> <td>〃 10.0</td> </tr> <tr> <td>礫混じり土砂</td> <td>〃 8.0</td> </tr> <tr> <td>玉石混じり土砂</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>固結シルト・固結粘土</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験)</td> <td>軟岩</td> <td>〃 7.0</td> </tr> <tr> <td>普通載荷 (2.5MN/m<sup>2</sup>以下) G L-50m以内</td> <td>〃 3.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">現場透水試験</td> <td>中圧載荷 (2.5~10MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>高圧載荷 (10~20MN/m<sup>2</sup>) G L-50m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>オーガー法 G L-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>ケーシング法 G L-10m以内</td> <td>〃 2.0</td> </tr> <tr> <td>一重管式 G L-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>揚水法 G L-20m以内</td> <td>〃 1.0</td> </tr> <tr> <td>スケーション式サウンディング G L-10m以内 N値4以内</td> <td>m 22.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験</td> <td>20kN G L-30m以内</td> <td>〃 12.0</td> </tr> <tr> <td>100kN G L-30m以内</td> <td>〃 11.0</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ボーラーگون貫入試験</td> <td>単管式 G L-5m以内</td> <td>〃 25.0</td> </tr> <tr> <td>二重管式 G L-5m以内</td> <td>〃 15.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>工期算定等にあたっては、作業条件による補正は行わない。</p>	種別・規格	単位	日当たり作業量	標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0	砂・砂質土	〃 10.0	礫混じり土砂	〃 8.0	玉石混じり土砂	〃 7.0	固結シルト・固結粘土	〃 7.0	プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験)	軟岩	〃 7.0	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃 3.0	現場透水試験	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0	オーガー法 G L-10m以内	〃 2.0	ケーシング法 G L-10m以内	〃 2.0	一重管式 G L-20m以内	〃 1.0	二重管式 G L-20m以内	〃 1.0	揚水法 G L-20m以内	〃 1.0	スケーション式サウンディング G L-10m以内 N値4以内	m 22.0	機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験	20kN G L-30m以内	〃 12.0	100kN G L-30m以内	〃 11.0	ボーラーگون貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃 25.0	二重管式 G L-5m以内	〃 15.0
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																												
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0																																																																																												
	砂・砂質土	〃 10.0																																																																																												
	礫混じり土砂	〃 8.0																																																																																												
	玉石混じり土砂	〃 7.0																																																																																												
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0																																																																																												
孔内載荷試験 (プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)	軟岩	〃 7.0																																																																																												
	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃 3.0																																																																																												
現場透水試験	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0																																																																																												
	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0																																																																																												
	オーガー法 G L-10m以内	〃 2.0																																																																																												
	ケーシング法 G L-10m以内	〃 2.0																																																																																												
	一重管式 G L-20m以内	〃 1.0																																																																																												
	二重管式 G L-20m以内	〃 1.0																																																																																												
	揚水法 G L-20m以内	〃 1.0																																																																																												
	スケーション式サウンディング G L-10m以内 N値4以内	m 22.0																																																																																												
機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験	20kN G L-30m以内	〃 12.0																																																																																												
	100kN G L-30m以内	〃 11.0																																																																																												
ボーラーگون貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃 25.0																																																																																												
	二重管式 G L-5m以内	〃 15.0																																																																																												
種別・規格	単位	日当たり作業量																																																																																												
標準貫入試験	粘性土・シルト	回 12.0																																																																																												
	砂・砂質土	〃 10.0																																																																																												
	礫混じり土砂	〃 8.0																																																																																												
	玉石混じり土砂	〃 7.0																																																																																												
	固結シルト・固結粘土	〃 7.0																																																																																												
プレッシャーメータ試験 (孔内水平載荷試験)	軟岩	〃 7.0																																																																																												
	普通載荷 (2.5MN/m <sup>2</sup> 以下) G L-50m以内	〃 3.0																																																																																												
現場透水試験	中圧載荷 (2.5~10MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0																																																																																												
	高圧載荷 (10~20MN/m <sup>2</sup> ) G L-50m以内	〃 2.0																																																																																												
	オーガー法 G L-10m以内	〃 2.0																																																																																												
	ケーシング法 G L-10m以内	〃 2.0																																																																																												
	一重管式 G L-20m以内	〃 1.0																																																																																												
	二重管式 G L-20m以内	〃 1.0																																																																																												
	揚水法 G L-20m以内	〃 1.0																																																																																												
	スケーション式サウンディング G L-10m以内 N値4以内	m 22.0																																																																																												
機械式コーン (オランダ式二重管コーン) 貫入試験	20kN G L-30m以内	〃 12.0																																																																																												
	100kN G L-30m以内	〃 11.0																																																																																												
ボーラーگون貫入試験	単管式 G L-5m以内	〃 25.0																																																																																												
	二重管式 G L-5m以内	〃 15.0																																																																																												
	2-2-10 121	2-2-10 121																																																																																												

頁	新	旧																																																																																																																		
P124 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	<p style="text-align: center;">030701 以降適用</p> <p>表2.4.3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m以下</td> <td>吊下げ荷重1t #</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2.4.4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m以下</td> <td>吊下げ荷重1t #</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表2.4.5 標高差における距離の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小運搬方法</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩運搬</td> <td>5</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> <tr> <td>特装車運搬(クローラ)</td> <td>3</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> </tbody> </table> <p>標高差は1m単位とする。</p> <p>4. 間接調査費の算出          (人肩運搬、特装車運搬)          間接調査費＝設計単価×運搬総重量          設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬、索道運搬)          間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去)          ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数          設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。          供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数          ※供用日数の算定に当たっては、不稼働係数、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。</p> <p>2-4-4 適用に当たっての留意事項          現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。</p> <p style="text-align: center;">2-2-13 124</p>	種別	規格	単位	モノレール運搬	5.0m以下	箇所	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m超 20.0m以下	#	20.0m超 30.0m以下	#	30.0m超 50.0m以下	#	索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m以下	吊下げ荷重1t #	10.0m超 50.0m以下	#		50.0m超 100.0m以下	#	種別	規格	単位	モノレール運搬	5.0m以下	日	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m超 20.0m以下	#	20.0m超 30.0m以下	#	30.0m超 50.0m以下	#	索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m以下	吊下げ荷重1t #	10.0m超 50.0m以下	#		50.0m超 100.0m以下	#	小運搬方法	補正值	換算距離の計算	人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	<p>表2.4.3 現場内小運搬における架設・撤去の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>箇所</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m以下</td> <td>吊下げ荷重1t #</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>表2.4.4 現場内小運搬における機械器具損料の規格区分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">モノレール運搬</td> <td>5.0m以下</td> <td>日</td> </tr> <tr> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 20.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>20.0m超 30.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>30.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">索道運搬</td> <td>5.0m超 10.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>10.0m以下</td> <td>吊下げ荷重1t #</td> </tr> <tr> <td>10.0m超 50.0m以下</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50.0m超 100.0m以下</td> <td>#</td> </tr> </tbody> </table> <p>上表以外は別途計上する。</p> <p>3. 補正係数の設定</p> <p>表2.4.5 標高差における距離の補正係数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>小運搬方法</th> <th>補正值</th> <th>換算距離の計算</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人肩運搬</td> <td>5</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> <tr> <td>特装車運搬(クローラ)</td> <td>3</td> <td>換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值</td> </tr> </tbody> </table> <p>標高差は1m単位とする。</p> <p>4. 間接調査費の算出          (人肩運搬、特装車運搬)          間接調査費＝設計単価×運搬総重量          設計単価＝標準の市場単価(換算距離別)</p> <p>(モノレール運搬、索道運搬)          間接調査費＝設計単価(運搬)×運搬総重量＋設計単価(架設・撤去)          ＋設計単価(機械器具損料)×供用日数          設計単価＝標準の市場単価 ただし、機械器具損料は特別調査により別途計上する。          供用日数＝架設日数＋調査・試験等作業日数＋撤去日数          ※架設日数は、不稼働係数、年末年始、夏季休暇等の撤去不能期間を考慮する。</p> <p>2-4-4 適用に当たっての留意事項          現場内の各小運搬方法に伴う機材、雑品はこれを含むものとする。</p> <p style="text-align: center;">2-2-13 124</p>	種別	規格	単位	モノレール運搬	5.0m以下	箇所	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m超 20.0m以下	#	20.0m超 30.0m以下	#	30.0m超 50.0m以下	#	索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m以下	吊下げ荷重1t #	10.0m超 50.0m以下	#		50.0m超 100.0m以下	#	種別	規格	単位	モノレール運搬	5.0m以下	日	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m超 20.0m以下	#	20.0m超 30.0m以下	#	30.0m超 50.0m以下	#	索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#	10.0m以下	吊下げ荷重1t #	10.0m超 50.0m以下	#		50.0m超 100.0m以下	#	小運搬方法	補正值	換算距離の計算	人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值	特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值
種別	規格	単位																																																																																																																		
モノレール運搬	5.0m以下	箇所																																																																																																																		
	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m超 20.0m以下	#																																																																																																																		
	20.0m超 30.0m以下	#																																																																																																																		
	30.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m以下	吊下げ荷重1t #																																																																																																																		
	10.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
	50.0m超 100.0m以下	#																																																																																																																		
種別	規格	単位																																																																																																																		
モノレール運搬	5.0m以下	日																																																																																																																		
	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m超 20.0m以下	#																																																																																																																		
	20.0m超 30.0m以下	#																																																																																																																		
	30.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m以下	吊下げ荷重1t #																																																																																																																		
	10.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
	50.0m超 100.0m以下	#																																																																																																																		
小運搬方法	補正值	換算距離の計算																																																																																																																		
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																																		
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																																		
種別	規格	単位																																																																																																																		
モノレール運搬	5.0m以下	箇所																																																																																																																		
	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m超 20.0m以下	#																																																																																																																		
	20.0m超 30.0m以下	#																																																																																																																		
	30.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m以下	吊下げ荷重1t #																																																																																																																		
	10.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
	50.0m超 100.0m以下	#																																																																																																																		
種別	規格	単位																																																																																																																		
モノレール運搬	5.0m以下	日																																																																																																																		
	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m超 20.0m以下	#																																																																																																																		
	20.0m超 30.0m以下	#																																																																																																																		
	30.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
索道運搬	5.0m超 10.0m以下	#																																																																																																																		
	10.0m以下	吊下げ荷重1t #																																																																																																																		
	10.0m超 50.0m以下	#																																																																																																																		
	50.0m超 100.0m以下	#																																																																																																																		
小運搬方法	補正值	換算距離の計算																																																																																																																		
人肩運搬	5	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																																		
特装車運搬(クローラ)	3	換算距離＝運搬距離＋標高差×補正值																																																																																																																		



令和2年度 山口県 業務関係積算基準及び標準歩掛表  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																										
P129 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	<p style="text-align: right;">030701以降適用</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2-6-5 日当たり作業量                              日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.6.3 その他間接調査費の日当たり作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備及び跡片付け</td> <td>業務</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td>m</td> <td>166.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td>箇所</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right;">2-2-18 129</p>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	準備及び跡片付け	業務	1.0	搬入路伐採等	m	166.0	環境保全	仮囲い	箇所	2.0	<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>2-6-5 日当たり作業量                              日当たり作業量は下表を標準とする。</p> <p>表2.6.3 その他間接調査費の日当たり作業量</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>種 別 ・ 規 格</th> <th>単 位</th> <th>日 当 たり 作 業 量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>準備跡片付け</td> <td>業務</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>搬入路伐採等</td> <td>m</td> <td>166.0</td> </tr> <tr> <td>環境保全</td> <td>仮囲い</td> <td>箇所</td> <td>2.0</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p style="text-align: right;">2-2-18 129</p>	種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量	準備跡片付け	業務	1.0	搬入路伐採等	m	166.0	環境保全	仮囲い	箇所	2.0
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																										
準備及び跡片付け	業務	1.0																										
搬入路伐採等	m	166.0																										
環境保全	仮囲い	箇所	2.0																									
種 別 ・ 規 格	単 位	日 当 たり 作 業 量																										
準備跡片付け	業務	1.0																										
搬入路伐採等	m	166.0																										
環境保全	仮囲い	箇所	2.0																									

頁	新	旧																																																
P131 設計業務等標準積算基準書 第2編 地質調査業務 第2章 地質調査標準歩掛等 第2節 機械ボーリング(土質ボーリング・岩盤ボーリング)	030701以降適用 1-4. 総合解析とりまとめ (1)業務の範囲 ① 調査地周辺の地形・地質の検討 ② 地質調査結果に基づく土質定数の設定 ③ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 ④ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合) ⑤ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討) ⑥ 設計・施工上の留意点の検討(特に盛土や切土を行う場合) ⑦ 報告書の執筆 ただし、次のような業務は含まない 1)杭の支持力計算、圧密沈下(沈下量及び沈下時間)計算、応力分布及び地すべり計算等の具体的な計算業務。 2)高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討。 3)地質図の作成(別途、地質、地表踏査が必要なもの) (2)試験種目数別の補正 現場で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、補正する。 なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ポアホールジャッキ試験)、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場CBR試験等の区分とする。 (3)単価は、コピー代等を含む。 (4)本単価は内業単価である。 1-5. 打合せ 中間打合せの回数は3回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。 2. 単価の規格・仕様区分 表2. 7. 1 解析等調査業務の規格区分 <table border="1" data-bbox="465 1042 1084 1189"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査 (SSA050)</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>業務</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ (SSA052)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃 (SSE052)</td> <td>〃 (直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成 (SSA054)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃 (SSE054)</td> <td>〃 (直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ (SSA056)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>打合せ (SE000015)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種別	規格	単位	既存資料の収集・現地調査 (SSA050)	直接人件費 (解析等調査業務費分)	業務	資料整理とりまとめ (SSA052)	〃 (解析等調査業務費分)	〃	〃 (SSE052)	〃 (直接調査費分)	〃	断面図等の作成 (SSA054)	〃 (解析等調査業務費分)	〃	〃 (SSE054)	〃 (直接調査費分)	〃	総合解析とりまとめ (SSA056)	〃 (解析等調査業務費分)	〃	打合せ (SE000015)	〃 (解析等調査業務費分)	—	1-4. 総合解析とりまとめ (1)業務の範囲 ① 調査地周辺の地形・地質の検討 ② 地質調査結果に基づく土質定数の設定 ③ 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 ④ 地盤の透水性の検討(現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合) ⑤ 調査結果に基づく基礎形式の検討(具体的な計算を行うものでなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討) ⑥ 設計・施工上の留意点の検討(特に盛土や切土を行う場合) ⑦ 報告書の執筆 ただし、次のような業務は含まない 1)杭の支持力計算、圧密沈下(沈下量及び沈下時間)計算、応力分布及び地すべり計算等の具体的な計算業務。 2)高度な土質・地質定数の計算と検討、軟弱地盤に対する対策工法の検討、安定解析、液状化解析、特定の基礎工法や構造物に関する総合的検討。 (2)試験種目数別の補正 現場で行われる調査、室内試験等を含む調査の種目数は、0～3種を標準とし、これを超える場合には、補正する。 なお、試験種目は、サンプリング、標準貫入試験、動的円錐貫入試験、プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)、現場透水試験、岩盤透水試験、間隙水圧試験、スウェーデン式サウンディング、機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験、ポータブルコーン貫入試験、三成分コーン試験、電気式静的コーン貫入試験、オートマチックサウンディング、物理的性質試験、化学的性質試験、力学的性質試験、現場単位体積重量試験、平板載荷試験、現場CBR試験等の区分とする。 (3)単価は、コピー代等を含む。 (4)本単価は内業単価である。 1-5. 打合せ 中間打合せの回数は3回を標準とし、必要に応じて打合せ回数を増減する。打合せ回数を増減する場合は、1回当たり、中間打合せ1回の人員を増減する。 2. 単価の規格・仕様区分 表2. 7. 1 解析等調査業務の規格区分 <table border="1" data-bbox="1413 1026 2031 1182"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>規格</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>既存資料の収集・現地調査 (SSA050)</td> <td>直接人件費 (解析等調査業務費分)</td> <td>業務</td> </tr> <tr> <td>資料整理とりまとめ (SSA052)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃 (SSE052)</td> <td>〃 (直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>断面図等の作成 (SSA054)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>〃 (SSE054)</td> <td>〃 (直接調査費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>総合解析とりまとめ (SSA056)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>〃</td> </tr> <tr> <td>打合せ (SE000015)</td> <td>〃 (解析等調査業務費分)</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table>	種別	規格	単位	既存資料の収集・現地調査 (SSA050)	直接人件費 (解析等調査業務費分)	業務	資料整理とりまとめ (SSA052)	〃 (解析等調査業務費分)	〃	〃 (SSE052)	〃 (直接調査費分)	〃	断面図等の作成 (SSA054)	〃 (解析等調査業務費分)	〃	〃 (SSE054)	〃 (直接調査費分)	〃	総合解析とりまとめ (SSA056)	〃 (解析等調査業務費分)	〃	打合せ (SE000015)	〃 (解析等調査業務費分)	—
種別	規格	単位																																																
既存資料の収集・現地調査 (SSA050)	直接人件費 (解析等調査業務費分)	業務																																																
資料整理とりまとめ (SSA052)	〃 (解析等調査業務費分)	〃																																																
〃 (SSE052)	〃 (直接調査費分)	〃																																																
断面図等の作成 (SSA054)	〃 (解析等調査業務費分)	〃																																																
〃 (SSE054)	〃 (直接調査費分)	〃																																																
総合解析とりまとめ (SSA056)	〃 (解析等調査業務費分)	〃																																																
打合せ (SE000015)	〃 (解析等調査業務費分)	—																																																
種別	規格	単位																																																
既存資料の収集・現地調査 (SSA050)	直接人件費 (解析等調査業務費分)	業務																																																
資料整理とりまとめ (SSA052)	〃 (解析等調査業務費分)	〃																																																
〃 (SSE052)	〃 (直接調査費分)	〃																																																
断面図等の作成 (SSA054)	〃 (解析等調査業務費分)	〃																																																
〃 (SSE054)	〃 (直接調査費分)	〃																																																
総合解析とりまとめ (SSA056)	〃 (解析等調査業務費分)	〃																																																
打合せ (SE000015)	〃 (解析等調査業務費分)	—																																																
	2-2-20 131	2-2-20 131																																																

令和2年度 山口県 業務関係積算基準及び標準歩掛表  
 新旧対照表

適用基準日：030701

項目	工種	種別	細別	積算表示 単位	積算表示 数値	契約表示 単位	契約表示 数値	備考
測量 業務	用地測量	資料調査	公園等の転写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	1,000㎡未満は10㎡
			公園等の転写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	
			土地台帳簿謄写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	
			土地台帳簿謄写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	
			建物台帳簿謄写(当初)	戸	1	戸	1	
			建物台帳簿謄写(当初)	戸	1	戸	1	
			境界確認	人	1	人	1	
			境界確認	人	100	人	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
設計 業務	測量調査費	機械ボーリング	機械ボーリング	m	1	m	1	1,000㎡未満は10㎡
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			機械ボーリング	m	1	m	1	
			設計 業務	測量調査費	サンプリング	サンプリング	m	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
設計 業務	測量調査費	サウンディング及び原位置試験				サウンディング及び原位置試験	m	1
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	

030701 以降適用

参1-1-5

362

項目	工種	種別	細別	積算表示 単位	積算表示 数値	契約表示 単位	契約表示 数値	備考
測量 業務	測量調査費	資料調査	公園等の転写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	1,000㎡未満は10㎡
			公園等の転写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	
			土地台帳簿謄写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	
			土地台帳簿謄写	m <sup>2</sup>	100	m <sup>2</sup>	100	
			建物台帳簿謄写(当初)	戸	1	戸	1	
			建物台帳簿謄写(当初)	戸	1	戸	1	
			境界確認	人	1	人	1	
			境界確認	人	100	人	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			境界測量	m	100	m	100	
			測量 業務	測量調査費	サンプリング	サンプリング	m	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
サンプリング	m	1				m	1	
測量 業務	測量調査費	サウンディング及び原位置試験				サウンディング及び原位置試験	m	1
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
			サウンディング及び原位置試験	m	1	m	1	
設計 業務	測量調査費	測量調査費	測量調査費	m	1	m	1	1,000㎡未満は10㎡
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	
			測量調査費	m	1	m	1	

参1-1-5

362

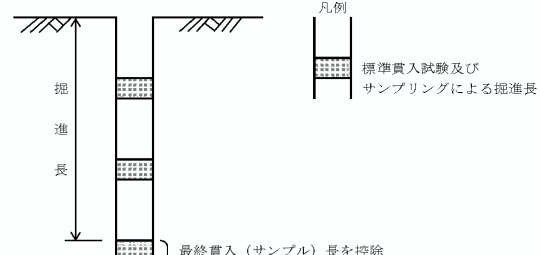
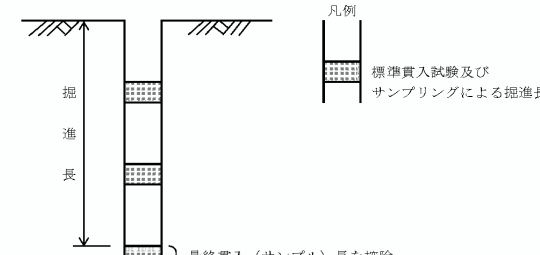
令和2年度 山口県 業務関係積算基準及び標準歩掛表  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧
P437 設計業務等標準積算基準書(参考資料) 第3編 地質調査業務 第1章 地質調査積算基準(参考資料) 第1節 地質調査積算基準	<p style="text-align: center;">030701以降適用</p> <p style="text-align: center;">1-4 地質調査相互関連図</p> <p>ボリリング → ロータリーボーリング / オーガーボーリング</p> <p>粘土, シルト, 泥炭, 砂, 砂質土, 火山灰</p> <p>標準貫入試験 φ66mm以上          ペーンテスト φ86mm以上          孔内載荷試験(横方向K値)          (プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)          電気検層 φ66mm以上          現場揚水試験 φ300mm          現場透水試験 φ86mm以上          間隙水圧測定 φ86mm以上</p> <p>プレオメータ法 φ66~86mm          L.L.T法 φ86mm          K.K.T法 φ66mm</p> <p>オーガー法          ケーシング法          二重管法          注水法</p> <p>物理的性質試験一式          化学的性質試験一式          圧密試験          一面せん断試験          一軸圧縮試験          三軸圧縮試験</p> <p>力学的性質試験          繰返し三軸試験(液状化・変形)          中空ねじりせん断試験          リングせん断試験          中圧三軸圧縮試験          中型三軸圧縮試験          大型三軸圧縮試験</p> <p>固定ピストン式 シンウォールサンプリング φ90mm          (シンウォールサンプリング)          ロータリー式二重管 サンプリング φ116mm          (デニソンサンプリング)          ロータリー式三重管 サンプリング φ116mm          (トリプルサンプリング)</p> <p>乱さない試料採取</p> <p>サウンディング → スウェーデン式機械式(オランダ式) / ポータブルコーン / 動的貫入試験 / 三成分コーン / 電気式静的コーン貫入試験 / オートマチックラムサウンディング</p> <p>各種原位置試験 → 現場密度 / 平板載荷 / 現場C B R</p> <p>地盤の平板載荷 / 道路用平板載荷 / ベンゲルマンビームテスト</p> <p>2 t / 10 t / 単管式 / 二重管式</p> <p>参3-1-3 437</p>	<p style="text-align: center;">1-4 地質調査相互関連図</p> <p>ボリリング → ロータリーボーリング / オーガーボーリング</p> <p>粘土, シルト, 泥炭, 砂, 砂質土, 火山灰</p> <p>標準貫入試験 φ66mm以上          ペーンテスト φ86mm以上          プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験(横方向K値))          電気検層 φ66mm以上          現場揚水試験 φ300mm          現場透水試験 φ86mm以上          間隙水圧測定 φ86mm以上</p> <p>プレオメータ法 φ66~86mm          L.L.T法 φ86mm          K.K.T法 φ66mm</p> <p>オーガー法          ケーシング法          二重管法          注水法</p> <p>物理的性質試験一式          化学的性質試験一式          圧密試験          一面せん断試験          一軸圧縮試験          三軸圧縮試験</p> <p>力学的性質試験          繰返し三軸試験(液状化・変形)          中空ねじりせん断試験          リングせん断試験          中圧三軸圧縮試験          中型三軸圧縮試験          大型三軸圧縮試験</p> <p>固定ピストン式 シンウォールサンプリング φ90mm          (シンウォールサンプリング)          ロータリー式二重管 サンプリング φ116mm          (デニソンサンプリング)          ロータリー式三重管 サンプリング φ116mm          (トリプルサンプリング)</p> <p>乱さない試料採取</p> <p>サウンディング → スウェーデン式機械式(オランダ式) / ポータブルコーン / 動的貫入試験 / 三成分コーン / 電気式静的コーン貫入試験 / オートマチックラムサウンディング</p> <p>各種原位置試験 → 現場密度 / 平板載荷 / 現場C B R</p> <p>地盤の平板載荷 / 道路用平板載荷 / ベンゲルマンビームテスト</p> <p>2 t / 10 t / 単管式 / 二重管式</p> <p>参3-1-3 437</p>

令和2年度 山口県 業務関係積算基準及び標準歩掛表  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																																																																																																																																																																																
P439 設計業務等標準積算基準書(参考資料) 第3編 地質調査業務 第2章 地質調査運用(参考資料) 第1節 機械ボーリング	030701以降適用 <p>1-1-2 機械ボーリングの設計長                      (1) 地質調査における掘進長の取扱いについて                      ボーリング掘進延長には、標準貫入試験及びサンプリング等の延長も含むが、最終貫入(サンプル)長については、掘削先端位置より標準貫入試験を行うため、下図の様にボーリング掘進延長には含まない。</p>  <p>1-1-3 ボーリング孔径の適用                      (1) 各種試験及び計測に必要なボーリング孔径は下記を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="470 798 1097 1356"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>試験・計測名</th> <th>必要孔径(mm)</th> <th>区分</th> <th>試験・計測名</th> <th>必要孔径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土</td> <td>固定ピストン式シンウォールサンプリング</td> <td>86~</td> <td rowspan="4">岩盤調査</td> <td>岩盤透水試験</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>ロータリー式二重管サンプリング(デニゾンサンプリング)</td> <td>116~</td> <td>孔内微流速測定</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>ロータリー式三重管サンプリング</td> <td>116~</td> <td>湧水圧測定</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グラウト試験</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">質</td> <td>標準貫入試験</td> <td>66~</td> <td rowspan="4">地すべり調査</td> <td>ボアホールスキャナー</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)(プレシオメーター)</td> <td>66~</td> <td>パイプ式歪計</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>〃(L, L, T)</td> <td>86</td> <td>孔内傾斜計</td> <td>86~</td> </tr> <tr> <td>〃(K, K, T)</td> <td>66</td> <td>多層移動量計</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">験</td> <td>揚水試験</td> <td>250~</td> <td rowspan="7">調査</td> <td>水位計</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>現場透水試験</td> <td>86~</td> <td>地下水検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>間隙水圧測定</td> <td>86~</td> <td>簡易揚水試験</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>地下水孔内流向・流速測定(LD型)</td> <td>116~</td> <td>速度検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>〃(SWM-KZ型)</td> <td>150~</td> <td>P S 検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>地中ガス調査</td> <td>86~</td> <td>反射検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>密度検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>電気検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>温度検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>キャリパー検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>常時微動測定</td> <td>101~</td> </tr> </tbody> </table> <p>参3-2-2 439</p>	区分	試験・計測名	必要孔径(mm)	区分	試験・計測名	必要孔径(mm)	土	固定ピストン式シンウォールサンプリング	86~	岩盤調査	岩盤透水試験	66~	ロータリー式二重管サンプリング(デニゾンサンプリング)	116~	孔内微流速測定	66~	ロータリー式三重管サンプリング	116~	湧水圧測定	66~			グラウト試験	66~	質	標準貫入試験	66~	地すべり調査	ボアホールスキャナー	66~	孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)(プレシオメーター)	66~	パイプ式歪計	66~	〃(L, L, T)	86	孔内傾斜計	86~	〃(K, K, T)	66	多層移動量計	66~	験	揚水試験	250~	調査	水位計	66~	現場透水試験	86~	地下水検層	66~	間隙水圧測定	86~	簡易揚水試験	66~	地下水孔内流向・流速測定(LD型)	116~	速度検層	66~	〃(SWM-KZ型)	150~	P S 検層	66~	地中ガス調査	86~	反射検層	66~			密度検層	66~			電気検層	66~			温度検層	66~			キャリパー検層	66~			常時微動測定	101~	<p>1-1-2 機械ボーリングの設計長                      (1) 地質調査における掘進長の取扱いについて                      ボーリング掘進延長には、標準貫入試験及びサンプリング等の延長も含むが、最終貫入(サンプル)長については、掘削先端位置より標準貫入試験を行うため、下図の様にボーリング掘進延長には含まない。</p>  <p>1-1-3 ボーリング孔径の適用                      (1) 各種試験及び計測に必要なボーリング孔径は下記を標準とする。</p> <table border="1" data-bbox="1411 798 2038 1356"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>試験・計測名</th> <th>必要孔径(mm)</th> <th>区分</th> <th>試験・計測名</th> <th>必要孔径(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">土</td> <td>固定ピストン式シンウォールサンプリング</td> <td>86~</td> <td rowspan="4">岩盤調査</td> <td>岩盤透水試験</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>ロータリー式二重管サンプリング(デニゾンサンプリング)</td> <td>116~</td> <td>孔内微流速測定</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>ロータリー式三重管サンプリング</td> <td>116~</td> <td>湧水圧測定</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>グラウト試験</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">質</td> <td>標準貫入試験</td> <td>66~</td> <td rowspan="4">地すべり調査</td> <td>ボアホールスキャナー</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)(プレシオメーター)</td> <td>66~</td> <td>パイプ式歪計</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>〃(L, L, T)</td> <td>86</td> <td>孔内傾斜計</td> <td>86~</td> </tr> <tr> <td>〃(K, K, T)</td> <td>66</td> <td>多層移動量計</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">験</td> <td>揚水試験</td> <td>250~</td> <td rowspan="7">調査</td> <td>水位計</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>現場透水試験</td> <td>86~</td> <td>地下水検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>間隙水圧測定</td> <td>86~</td> <td>簡易揚水試験</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>地下水孔内流向・流速測定(LD型)</td> <td>116~</td> <td>速度検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>〃(SWM-KZ型)</td> <td>150~</td> <td>P S 検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td>地中ガス調査</td> <td>86~</td> <td>反射検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>密度検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>電気検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>温度検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>キャリパー検層</td> <td>66~</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>常時微動測定</td> <td>101~</td> </tr> </tbody> </table> <p>参3-2-2 439</p>	区分	試験・計測名	必要孔径(mm)	区分	試験・計測名	必要孔径(mm)	土	固定ピストン式シンウォールサンプリング	86~	岩盤調査	岩盤透水試験	66~	ロータリー式二重管サンプリング(デニゾンサンプリング)	116~	孔内微流速測定	66~	ロータリー式三重管サンプリング	116~	湧水圧測定	66~			グラウト試験	66~	質	標準貫入試験	66~	地すべり調査	ボアホールスキャナー	66~	プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)(プレシオメーター)	66~	パイプ式歪計	66~	〃(L, L, T)	86	孔内傾斜計	86~	〃(K, K, T)	66	多層移動量計	66~	験	揚水試験	250~	調査	水位計	66~	現場透水試験	86~	地下水検層	66~	間隙水圧測定	86~	簡易揚水試験	66~	地下水孔内流向・流速測定(LD型)	116~	速度検層	66~	〃(SWM-KZ型)	150~	P S 検層	66~	地中ガス調査	86~	反射検層	66~			密度検層	66~			電気検層	66~			温度検層	66~			キャリパー検層	66~			常時微動測定	101~
	区分	試験・計測名	必要孔径(mm)	区分	試験・計測名	必要孔径(mm)																																																																																																																																																																												
土	固定ピストン式シンウォールサンプリング	86~	岩盤調査	岩盤透水試験	66~																																																																																																																																																																													
	ロータリー式二重管サンプリング(デニゾンサンプリング)	116~		孔内微流速測定	66~																																																																																																																																																																													
	ロータリー式三重管サンプリング	116~		湧水圧測定	66~																																																																																																																																																																													
				グラウト試験	66~																																																																																																																																																																													
質	標準貫入試験	66~	地すべり調査	ボアホールスキャナー	66~																																																																																																																																																																													
	孔内載荷試験(プレッシャーメータ試験・ボアホールジャッキ試験)(プレシオメーター)	66~		パイプ式歪計	66~																																																																																																																																																																													
	〃(L, L, T)	86		孔内傾斜計	86~																																																																																																																																																																													
	〃(K, K, T)	66		多層移動量計	66~																																																																																																																																																																													
験	揚水試験	250~	調査	水位計	66~																																																																																																																																																																													
	現場透水試験	86~		地下水検層	66~																																																																																																																																																																													
	間隙水圧測定	86~		簡易揚水試験	66~																																																																																																																																																																													
	地下水孔内流向・流速測定(LD型)	116~		速度検層	66~																																																																																																																																																																													
	〃(SWM-KZ型)	150~		P S 検層	66~																																																																																																																																																																													
	地中ガス調査	86~		反射検層	66~																																																																																																																																																																													
				密度検層	66~																																																																																																																																																																													
		電気検層	66~																																																																																																																																																																															
		温度検層	66~																																																																																																																																																																															
		キャリパー検層	66~																																																																																																																																																																															
		常時微動測定	101~																																																																																																																																																																															
区分	試験・計測名	必要孔径(mm)	区分	試験・計測名	必要孔径(mm)																																																																																																																																																																													
土	固定ピストン式シンウォールサンプリング	86~	岩盤調査	岩盤透水試験	66~																																																																																																																																																																													
	ロータリー式二重管サンプリング(デニゾンサンプリング)	116~		孔内微流速測定	66~																																																																																																																																																																													
	ロータリー式三重管サンプリング	116~		湧水圧測定	66~																																																																																																																																																																													
				グラウト試験	66~																																																																																																																																																																													
質	標準貫入試験	66~	地すべり調査	ボアホールスキャナー	66~																																																																																																																																																																													
	プレッシャーメータ試験(孔内水平載荷試験)(プレシオメーター)	66~		パイプ式歪計	66~																																																																																																																																																																													
	〃(L, L, T)	86		孔内傾斜計	86~																																																																																																																																																																													
	〃(K, K, T)	66		多層移動量計	66~																																																																																																																																																																													
験	揚水試験	250~	調査	水位計	66~																																																																																																																																																																													
	現場透水試験	86~		地下水検層	66~																																																																																																																																																																													
	間隙水圧測定	86~		簡易揚水試験	66~																																																																																																																																																																													
	地下水孔内流向・流速測定(LD型)	116~		速度検層	66~																																																																																																																																																																													
	〃(SWM-KZ型)	150~		P S 検層	66~																																																																																																																																																																													
	地中ガス調査	86~		反射検層	66~																																																																																																																																																																													
				密度検層	66~																																																																																																																																																																													
		電気検層	66~																																																																																																																																																																															
		温度検層	66~																																																																																																																																																																															
		キャリパー検層	66~																																																																																																																																																																															
		常時微動測定	101~																																																																																																																																																																															

頁	新	旧																								
<p>P439</p> <p>設計業務等標準積算基準書(参考資料)</p> <p>第3編 地質調査業務</p> <p>第2章 地質調査運用(参考資料)</p> <p>第1節 機械ボーリング</p>	<p style="text-align: right;">030701以降適用</p> <p>2) 足場材料等(仮囲い以外は平坦地足場の重量分を差し引いた重量)</p> <table border="1" data-bbox="504 395 745 539"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>標準重量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湿地足場</td> <td>950kg</td> </tr> <tr> <td>傾斜地足場</td> <td>900kg</td> </tr> <tr> <td>水上足場(水深1m以下)</td> <td>1,500kg</td> </tr> <tr> <td>水上足場(水深3m以下)</td> <td>1,950kg</td> </tr> <tr> <td>環境保全(仮囲い)</td> <td>250kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 傾斜地足場の重量は、垂直ボーリングで深度80m以下、地形傾斜15°～30°を標準としており、これ以外のケースは別途計上する。                  2. モノレール運搬、索道運搬を行う場合の機材は別途計上する。                  3. 配管給水を行う場合の機材は別途計上する。</p> <p>(4) 総運搬距離及び設置距離について</p> <p>1) 人肩運搬及び特装車運搬の総運搬距離積算例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="392 683 761 933"> <p>例1</p> <p>道路</p> <p>●：ボーリング地点</p> <p>総運搬距離=①+②+③+④</p> </div> <div data-bbox="739 683 1108 973"> <p>例2</p> <p>道路 a</p> <p>道路 b</p> <p>●：ボーリング地点</p> <p>道路 a から道路 b へ出る場合                      総運搬距離=①+②+③                      道路 a から道路 a へ戻る場合                      総運搬距離=①+②+②+①</p> </div> </div> <p>2) モノレール運搬設置距離・設置箇所計算例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="459 1069 772 1252"> <p>道路</p> <p>●：ボーリング地点</p> <p>case 1                      設置距離=①+②+③                      設置箇所数=1箇所</p> </div> <div data-bbox="772 1069 1108 1284"> <p>case 2                      設置距離=①+②+④                      設置箇所数=2箇所</p> <p>なお、積算に当たっては経済比較により安価な方を採用すること。</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">参3-2-4 441</p>	区分	標準重量	湿地足場	950kg	傾斜地足場	900kg	水上足場(水深1m以下)	1,500kg	水上足場(水深3m以下)	1,950kg	環境保全(仮囲い)	250kg	<p>2) 足場材料等(仮囲い以外は平坦地足場の重量分を差し引いた重量)</p> <table border="1" data-bbox="1429 354 1691 507"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>標準重量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>湿地足場</td> <td>950kg</td> </tr> <tr> <td>傾斜地足場</td> <td>900kg</td> </tr> <tr> <td>水上足場(水深1m未満)</td> <td>1,500kg</td> </tr> <tr> <td>水上足場(水深1m以上3m未満)</td> <td>1,950kg</td> </tr> <tr> <td>環境保全(仮囲い)</td> <td>250kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 傾斜地足場の重量は、垂直ボーリングで深度80m以下、地形傾斜15°～30°を標準としており、これ以外のケースは別途計上する。                  2. モノレール運搬、索道運搬を行う場合の機材は別途計上する。                  3. 配管給水を行う場合の機材は別途計上する。</p> <p>(4) 総運搬距離及び設置距離について</p> <p>1) 人肩運搬及び特装車運搬の総運搬距離積算例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1310 654 1713 917"> <p>例1</p> <p>道路</p> <p>●：ボーリング地点</p> <p>総運搬距離=①+②+③+④</p> </div> <div data-bbox="1691 638 2094 965"> <p>例2</p> <p>道路 a</p> <p>道路 b</p> <p>●：ボーリング地点</p> <p>道路 a から道路 b へ出る場合                      総運搬距離=①+②+③                      道路 a から道路 a へ戻る場合                      総運搬距離=①+②+②+①</p> </div> </div> <p>2) モノレール運搬設置距離・設置箇所計算例</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1388 1061 1713 1252"> <p>道路</p> <p>●：ボーリング地点</p> <p>case 1                      設置距離=①+②+③                      設置箇所数=1箇所</p> </div> <div data-bbox="1713 1061 2094 1284"> <p>case 2                      設置距離=①+②+④                      設置箇所数=2箇所</p> <p>なお、積算に当たっては経済比較により安価な方を採用すること。</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">参3-2-4 441</p>	区分	標準重量	湿地足場	950kg	傾斜地足場	900kg	水上足場(水深1m未満)	1,500kg	水上足場(水深1m以上3m未満)	1,950kg	環境保全(仮囲い)	250kg
区分	標準重量																									
湿地足場	950kg																									
傾斜地足場	900kg																									
水上足場(水深1m以下)	1,500kg																									
水上足場(水深3m以下)	1,950kg																									
環境保全(仮囲い)	250kg																									
区分	標準重量																									
湿地足場	950kg																									
傾斜地足場	900kg																									
水上足場(水深1m未満)	1,500kg																									
水上足場(水深1m以上3m未満)	1,950kg																									
環境保全(仮囲い)	250kg																									

令和2年度 山口県設計標準歩掛表 (港湾編)  
 新旧対照表

適用基準日：030701

頁	新	旧																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	030701以降適用	030315以降適用																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>3. 鉄筋加工組立 (ブロック)                      鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>普通棒鋼 方塊</th> <th>異形棒鋼 方塊</th> <th>丸形棒鋼 L型ブロック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸鋼</td> <td></td> <td>kg</td> <td>1,030</td> <td>1,020</td> <td>1,020</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン または ラフテレンクレーン (油) t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>標準運転時間を採用する</td> </tr> <tr> <td>世帯役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td></td> <td>#</td> <td>2.7</td> <td>3.0</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1.8</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>鉄筋加工機運転 結束線、その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本表は陸上施工に適用する。なお、海上施工(フローティングドック等による施工)については別途決定する。                      2.クレーンの機種・規格は現場条件により決定する。                      3.コンクリート運搬の施工方式がクレーン類による場合については、クレーンの機種・規格はコンクリート運搬による。</p> <p>4. 汚濁防止膜工                      汚濁防止膜設置 120m当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレンクレーン (油)25t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 35~40t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.7</td> <td>運6H/航8H</td> </tr> <tr> <td>引船 鋼D 300PS型</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.5</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.8</td> <td>航業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>8.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注)1.アンカーブロック製作は、別途計上する。                      2.アンカーブロック設置等の費用を含む。</p> <p>汚濁防止膜撤去 120m当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレンクレーン (油)25t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 35~40t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.7</td> <td>運6H/航8H</td> </tr> <tr> <td>引船 鋼D 300PS型</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.5</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.8</td> <td>航業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>6.3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注)アンカーブロック撤去等の費用を含む。</p> <p>汚濁防止膜移設 120m当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 35~40t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.7</td> <td>運6H/航8H</td> </tr> <tr> <td>引船 鋼D 300PS型</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.5</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.8</td> <td>航業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>5.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注)アンカーブロック移設等の費用を含む。</p>	名称	形状寸法	単位	数量			摘要	普通棒鋼 方塊	異形棒鋼 方塊	丸形棒鋼 L型ブロック	丸鋼		kg	1,030	1,020	1,020	割増しを含む	クローラクレーン または ラフテレンクレーン (油) t吊		日	0.1	0.1	0.1	標準運転時間を採用する	世帯役		人	0.4	0.5	0.5		鉄筋工		#	2.7	3.0	2.9		普通作業員		#	1.8	1.0	0.6		雑材料		%	3.0	3.0	3.0	鉄筋加工機運転 結束線、その他	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間	クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H	引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#	潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H	普通作業員		人	8.6		雑材料					名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間	クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H	引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#	潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H	普通作業員		人	6.3		雑材料					名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 35~40t吊		日	0.7	運6H/航8H	引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#	潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H	普通作業員		人	5.6		雑材料					<p>3. 鉄筋加工組立 (ブロック)                      鉄筋加工組立 1,000kg当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th rowspan="2">形状寸法</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="3">数量</th> <th rowspan="2">摘要</th> </tr> <tr> <th>普通棒鋼 方塊</th> <th>異形棒鋼 方塊</th> <th>丸形棒鋼 L型ブロック</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>丸鋼</td> <td></td> <td>kg</td> <td>1,030</td> <td>1,020</td> <td>1,020</td> <td>割増しを含む</td> </tr> <tr> <td>クローラクレーン または ラフテレンクレーン (油) t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>0.1</td> <td>標準運転時間を採用する</td> </tr> <tr> <td>世帯役</td> <td></td> <td>人</td> <td>0.4</td> <td>0.5</td> <td>0.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>鉄筋工</td> <td></td> <td>#</td> <td>2.7</td> <td>3.0</td> <td>2.9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>#</td> <td>1.8</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td>%</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>3.0</td> <td>鉄筋加工機運転 結束線、その他</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1.本表は陸上施工に適用する。なお、海上施工(フローティングドック等による施工)については別途決定する。                      2.クレーンの機種・規格は現場条件により決定する。                      3.コンクリート運搬の施工方式がクレーン類による場合については、クレーンの機種・規格はコンクリート運搬による。</p> <p>4. 汚濁防止膜工                      汚濁防止膜設置 120m当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレンクレーン (油)25t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 35~40t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.7</td> <td>運6H/航8H</td> </tr> <tr> <td>引船 鋼D 300PS型</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.5</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.8</td> <td>航業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>8.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注)アンカーブロック製作は、別途計上する。</p> <p>汚濁防止膜撤去 120m当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラフテレンクレーン (油)25t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.5</td> <td>標準運転時間</td> </tr> <tr> <td>クレーン付台船 35~40t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.7</td> <td>運6H/航8H</td> </tr> <tr> <td>引船 鋼D 300PS型</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.5</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.8</td> <td>航業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>8.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注)アンカーブロック製作は、別途計上する。</p> <p>汚濁防止膜移設 120m当り</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>形状寸法</th> <th>単位</th> <th>数量</th> <th>摘要</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クレーン付台船 35~40t吊</td> <td></td> <td>日</td> <td>0.7</td> <td>運6H/航8H</td> </tr> <tr> <td>引船 鋼D 300PS型</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.5</td> <td>#</td> </tr> <tr> <td>潜水士船 D180PS型 3~5t吊</td> <td></td> <td>#</td> <td>0.8</td> <td>航業8H</td> </tr> <tr> <td>普通作業員</td> <td></td> <td>人</td> <td>5.6</td> <td></td> </tr> <tr> <td>雑材料</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	名称	形状寸法	単位	数量			摘要	普通棒鋼 方塊	異形棒鋼 方塊	丸形棒鋼 L型ブロック	丸鋼		kg	1,030	1,020	1,020	割増しを含む	クローラクレーン または ラフテレンクレーン (油) t吊		日	0.1	0.1	0.1	標準運転時間を採用する	世帯役		人	0.4	0.5	0.5		鉄筋工		#	2.7	3.0	2.9		普通作業員		#	1.8	1.0	0.6		雑材料		%	3.0	3.0	3.0	鉄筋加工機運転 結束線、その他	名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間	クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H	引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#	潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H	普通作業員		人	8.6		雑材料					名称	形状寸法	単位	数量	摘要	ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間	クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H	引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#	潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H	普通作業員		人	8.6		雑材料					名称	形状寸法	単位	数量	摘要	クレーン付台船 35~40t吊		日	0.7	運6H/航8H	引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#	潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H	普通作業員		人	5.6		雑材料				
名称	形状寸法				単位	数量			摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																									
		普通棒鋼 方塊	異形棒鋼 方塊	丸形棒鋼 L型ブロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
丸鋼		kg	1,030	1,020	1,020	割増しを含む																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
クローラクレーン または ラフテレンクレーン (油) t吊		日	0.1	0.1	0.1	標準運転時間を採用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
世帯役		人	0.4	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鉄筋工		#	2.7	3.0	2.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		#	1.8	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
雑材料		%	3.0	3.0	3.0	鉄筋加工機運転 結束線、その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通作業員		人	8.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通作業員		人	6.3																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
クレーン付台船 35~40t吊		日	0.7	運6H/航8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通作業員		人	5.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量			摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
			普通棒鋼 方塊	異形棒鋼 方塊	丸形棒鋼 L型ブロック																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
丸鋼		kg	1,030	1,020	1,020	割増しを含む																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
クローラクレーン または ラフテレンクレーン (油) t吊		日	0.1	0.1	0.1	標準運転時間を採用する																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
世帯役		人	0.4	0.5	0.5																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
鉄筋工		#	2.7	3.0	2.9																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
普通作業員		#	1.8	1.0	0.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
雑材料		%	3.0	3.0	3.0	鉄筋加工機運転 結束線、その他																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通作業員		人	8.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
ラフテレンクレーン (油)25t吊		日	0.5	標準運転時間																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
クレーン付台船 35~40t吊		#	0.7	運6H/航8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通作業員		人	8.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
名称	形状寸法	単位	数量	摘要																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
クレーン付台船 35~40t吊		日	0.7	運6H/航8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
引船 鋼D 300PS型		#	0.5	#																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
潜水士船 D180PS型 3~5t吊		#	0.8	航業8H																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
普通作業員		人	5.6																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
雑材料																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
P892	4-1-(3) 892	4-1-(3) 892																																																																																																																																																																																																																																																																																																																

第4章 市場単価  
 補足資料-1  
 市場単価